



INDEX

数字

10 ギガビット イーサネット インターフェイス

設定時の注意事項 [12-19](#)

定義済み [12-7](#)

3 値連想メモリ

「TCAM」を参照

A

AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証 [1-13](#)

ABR [38-28](#)

access-class コマンド [34-22](#)

ACE

IP [34-2](#)

QoS と [35-8](#)

イーサネット [34-2](#)

定義済み [34-2](#)

ACL

ACE [34-2](#)

IP

暗黙の拒否 [34-11](#), [34-17](#), [34-19](#)

暗黙のマスク [34-11](#)

一致基準 [34-8](#)

作成する [34-8](#)

フラグメントと QoS の注意事項 [35-40](#)

未定義 [34-24](#)

IPv4

一致基準 [34-8](#)

インターフェイスに対して適用する [34-22](#)

作成する [34-8](#)

数 [34-9](#)

端末回線、設定する [34-22](#)

名前付き [34-17](#)

非サポート機能 [34-8](#)

IPv6

一致条件 [40-3](#)

インターフェイスへの適用 [40-8](#)

サポートしない機能 [40-3](#)

サポート対象 [40-3](#)

スタッキング [40-3](#)

制限 [40-3](#)

設定 [40-4](#), [40-5](#)

名前付き [40-3](#)

表示 [40-9](#)

他の機能との相互作用 [40-4](#)

優先 [40-2](#)

MAC 拡張 [34-30](#), [35-52](#)

QoS [35-8](#), [35-50](#)

QoS クラス マップごとの数 [35-40](#)

QoS のトラフィックを分類する [35-50](#)

VLAN マップ

設定時の注意事項 [34-34](#)

設定する [34-33](#)

VLAN マップでルータ ACL を使用する [34-41](#)

エントリの並べ替え [34-17](#)

拡張 IP、QoS 分類を設定する [35-51](#)

拡張 IPv4

一致基準 [34-8](#)

作成する [34-12](#)

コメント [34-21](#)

コンパイルする [34-26](#)

サポート [1-11](#)

サポートされない機能、IPv6 [40-3](#)

サポートされるタイプ [34-2](#)

時間範囲 [34-19](#)

照合 34-8, 34-24, 40-3

すべてのキーワード 34-15

定義済み 34-2, 34-8

適用

IPv6 インターフェイス 40-8

適用する

QoS に対する 35-8

インターフェイスに対する 34-22, 40-8

時間範囲 34-19

スイッチド パケットでの 34-43

ブリッジド パケットでの 34-43

マルチキャスト パケットでの 34-45

ルーテッド パケットでの 34-44

名前 40-4

名前付き、IPv4 34-17

名前付き、IPv6 40-3

ハードウェアとソフトウェアの処理 34-24

ハードウェアでのサポート 34-24

非サポート機能、IPv4 34-8

標準 IP、QoS 分類を設定する 35-50

標準 IPv4

一致基準 34-8

作成する 34-11

ポート 34-2, 40-2

ホスト キーワード 34-15

モニタリング 34-46, 40-9

優先順位 34-3

ルータ 34-2, 40-2

ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事項 34-42

例 34-26, 35-50

レイヤ 4 情報 34-42

ロギング メッセージ 34-10

AC (コマンド スイッチ) 6-11

ARP

カプセル化 38-12

スタティック キャッシュの設定 38-11

設定 38-11

定義済み 1-7, 7-24, 38-10

テーブル

アドレス解決 7-24

管理する 7-24

AS、BGP 内 38-52

ASBR 38-28

AS パス フィルタ、BGP 38-59

Auto-MDIX

設定する 12-23

説明 12-23

Autonomous System Boundary Router

「ASBR」を参照

B

BackboneFast

イネーブルにする 20-17

サポート 1-9

説明 20-7

ディセーブルにする 20-17

Berkeley r-tool の置換 9-57

BGP

CIDR 38-65

clear コマンド 38-69

Multi-VRF CE によるルーティング セッション 38-90

show コマンド 38-69

イネーブル化 38-52

コミュニティ フィルタリング 38-62

サポート 1-16

集約アドレス 38-65

集約ルート、設定 38-65

スーパーネット 38-65

セッションのリセット 38-55

説明 38-49

デフォルト設定 38-50

ネイバー、タイプ 38-52

ネイバーの設定 38-64

バージョン 4 38-49

パス選択 38-56

ピア、設定 [38-64](#)
 プレフィックス フィルタリング [38-61](#)
 マルチパス サポート [38-56](#)
 モニタリング [38-69](#)
 ルーティング ドメイン連合 [38-66](#)
 ルート ダンプニング [38-68](#)
 ルート マップ [38-59](#)
 ルート リフレクタ [38-67](#)

BPDU

errdisable ステート [20-2](#)
 RSTP 形式 [19-12](#)
 フィルタリング [20-3](#)

BPDU ガード

イネーブルにする [20-14](#)
 サポート [1-9](#)
 説明 [20-2](#)
 ディセーブルにする [20-15](#)

BPDU フィルタリング

イネーブルにする [20-15](#)
 サポート [1-9](#)
 説明 [20-3](#)
 ディセーブルにする [20-16](#)

broadcast storm-control コマンド [25-4](#)

C

Catalyst 6000 スイッチ

認証の互換性 [10-9](#)

CA トラストポイント

設定する [9-54](#)
 定義済み [9-52](#)

CDP

LLDP での定義 [27-1](#)
 アップデート [26-3](#)
 イネーブルとディセーブル
 インターフェイス上で [26-4](#)
 スイッチ上で [26-4](#)
 概要 [26-1](#)
 サポート [1-7](#)

信頼境界と [35-46](#)

スイッチ クラスタでの自動検出 [6-5](#)

スイッチ スタックの考慮事項 [26-2](#)

設定する [26-2](#)

説明 [26-1](#)

送信タイマーとホールドタイム、設定する [26-3](#)

デフォルト設定 [26-2](#)

電力ネゴシエーションの拡張機能 [12-8](#)

モニタリング [26-5](#)

ルーティング デバイスをディセーブルにする [26-4](#)

レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-8](#)

CEF

distributed [38-96](#)

IPv6 [39-21](#)

イネーブル化 [38-96](#)

定義 [38-95](#)

CE デバイス内の Multi-VRF

「Multi-VRF CE」を参照

CGMP

IGMP スヌーピング ラーニング方式としての [24-9](#)

概要 [46-10](#)

キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア [46-66](#)

サーバ サポート機能 [46-10](#)

サーバ サポートのイネーブル化 [46-47](#)

スイッチ サポート [1-5](#)

マルチキャスト グループに加入する [24-3](#)

CIDR [38-65](#)

CipherSuite [9-53](#)

Cisco 7960 IP 電話 [15-1](#)

Cisco Discovery Protocol

「CDP」を参照

Cisco Group Management Protocol

「CGMP」を参照

Cisco IOS DHCP サーバ

「DHCP、Cisco IOS DHCP サーバ データベース」を参照

Cisco IOS File System

「IFS」を参照

Cisco IOS IP SLA 43-2

Cisco Redundant Power System 2300

管理する 12-32

設定する 12-32

Cisco Secure ACS

ダウンロード可能な ACL の属性と値のペア 10-22

リダイレクト URL の属性と値のペア 10-22

Cisco Secure ACS 設定ガイド 10-62

CiscoWorks 2000 1-6, 32-4

Cisco インテリジェント電力管理 12-8

CISP 10-33

CIST リージョナル ルート

「MSTP」を参照

CIST ルート

「MSTP」を参照

CLI

エラー メッセージ 2-5

クラスタを管理する 6-17

コマンド出力のフィルタリング 2-9

コマンドの no 形式と default 形式 2-4

コマンドの短縮形 2-4

コマンド モード 2-1

コンフィギュレーション ロギング 2-5

説明 1-6

ヘルプを使用する 2-3

編集機能

イネーブルとディセーブル 2-7

キーストローク編集 2-7

ラップされた行 2-9

履歴

コマンドを呼び出す 2-6

説明 2-5

ディセーブルにする 2-6

バッファ サイズを変更する 2-6

Client Information Signalling Protocol

「CISP」を参照

CLNS

「ISO CLNS」を参照

CNS 1-6

Configuration Engine

イベント サービス 4-3

コンフィギュレーション サービス 4-2

設定 ID、デバイス ID、ホスト名 4-3

説明 4-1

管理機能 1-6

組み込みエージェント

イベント エージェントをイネーブルにする 4-7

自動設定をイネーブルにする 4-7

設定エージェントをイネーブルにする 4-9

説明 4-5

CoA 要求コマンド 9-24

config.text 3-20

configure terminal コマンド 12-13

CoS

オーバーライド プライオリティ 15-7

信頼のプライオリティ 15-7

レイヤ 2 フレームでの 35-2

CoS/DSCP マップ、QoS での 35-70

CoS 出力キューしきい値マップ、QoS の 35-19

CPU 使用率、トラブルシューティング 49-26

crashinfo ファイル 49-24

Customer Edge デバイス 38-81

CWDM SFP 1-33

D

DACL

「ダウンロード可能 ACL」を参照

dCEF、スイッチ スタック内 38-96

Default Router Preference

「DRP」を参照

default コマンド 2-4

description コマンド 12-27

DHCP

Cisco IOS サーバ データベース

設定する 22-15

説明 22-6

デフォルト設定 22-9

IPv6 用 DHCP

「DHCPv6」を参照

イネーブルにする

リレー エージェント 22-11

DHCP Option 82

回線 ID サブオプション 22-5

概要 22-3

パケット形式、サブオプション

回線 ID 22-5

リモート ID 22-5

リモート ID サブオプション 22-5

DHCPv6

DHCPv6 サーバ機能をイネーブルにする 39-18

クライアント機能をイネーブルにする 39-20

サポート 1-16

設定ガイドライン 39-17

説明 39-6

デフォルト設定 39-17

DHCP オブジェクト トラッキング、プライマリ インターフェイスの設定 44-11

DHCP オプション 82

設定時の注意事項 22-9

デフォルト設定 22-8

転送アドレス、指定する 22-11

表示する 22-16

ヘルパー アドレス 22-11

DHCP サーバ ポートベースのアドレス割り当て

イネーブルにする 22-28

サポート 1-7

設定時の注意事項 22-28

説明 22-28

デフォルト設定 22-28

表示する 22-32

予約アドレス 22-29

DHCP スヌーピング

Option 82 データ挿入 22-3

信頼済みインターフェイス 22-2

設定時の注意事項 22-9

デフォルト設定 22-8

バインディング データベース

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

バインディング テーブルの表示 22-16

非信頼インターフェイス 22-2

非信頼パケット形式エッジ スイッチを受信する 22-3, 22-13

非信頼メッセージ 22-2

プライベート VLAN の 22-14

メッセージ交換プロセス 22-4

DHCP スヌーピング バインディング データベース

イネーブルにする 22-15

エージェント統計情報をクリアする 22-16

エントリ 22-7

削除する

データベース エージェント 22-16

バインディング 22-16

バインディング ファイル 22-16

設定時の注意事項 22-10

設定する 22-15

説明 22-7

データベースを更新する 22-16

デフォルト設定 22-8, 22-9

バインディング 22-7

バインディング ファイル

形式 22-7

場所 22-7

バインディングを追加する 22-15

表示

ステータスと統計情報 22-16

バインディング エントリ 22-16

表示する 22-16

リセットする

タイムアウト値 22-16

遅延値 22-16

DHCP スヌーピング バインディング テーブル

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

DHCP バインディング データベース

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

DHCP バインディング テーブル

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

DHCP ベースの自動設定

BOOTP との関係 [3-4](#)

概要 [3-3](#)

クライアント要求メッセージの交換 [3-4](#)

サポート [1-6](#)

設定する

DNS [3-8](#)

TFTP サーバ [3-7](#)

クライアント側 [3-4](#)

サーバ側 [3-7](#)

リレー デバイス [3-8](#)

リース オプション

IP アドレス情報 [3-7](#)

設定ファイルを受信する [3-7](#)

リレー サポート [1-7, 1-16](#)

例 [3-10](#)

DHCP ベースの自動設定とイメージ アップデート

概要 [3-5 ~ 3-6](#)

設定する [3-12 ~ 3-16](#)

distributed-list コマンド [38-108](#)

DNS

DHCP ベースの自動設定と [3-8](#)

IPv6 での [39-4](#)

概要 [7-8](#)

サポート [1-6](#)

設定する [7-9](#)

設定を表示する [7-10](#)

デフォルト設定 [7-9](#)

DNS ベースの SSM マッピング [46-20, 46-22](#)

dot1q-tunnel switchport モード [13-18](#)

DRP

IPv6 [39-5](#)

サポート [1-16](#)

設定 [39-15](#)

説明 [39-5](#)

DSCP [1-14, 35-2](#)

DSCP/CoS マップ、QoS での [35-73](#)
[1-14, 35-2](#)

DSCP/DSCP 変換マップ、QoS での [35-74](#)

DSCP 出力キューしきい値マップ、QoS の [35-19](#)

DSCP の透過性 [35-47](#)

DTP [1-10, 13-17](#)

DUAL 有限状態マシン、EIGRP [38-40](#)

DVMRP

DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 [46-54](#)

mrinfo 要求、応答 [46-57](#)

概要 [46-9](#)

サポート [1-16](#)

自動サマライズ

サマリー アドレスの設定 [46-62](#)

ディセーブル化 [46-64](#)

相互運用性

Cisco IOS ソフトウェアとの [46-9](#)

シスコ デバイスとの [46-52](#)

送信元配信ツリー、構築 [46-9](#)

トンネル

設定 [46-54](#)

ネイバー情報の表示 [46-57](#)

ネイバー

情報の表示 [46-57](#)

デフォルト ルートのアドバタイズ [46-56](#)

非ブルーニングとのピアリングの禁止 [46-60](#)

非ブルーニングの拒否 [46-58](#)

プローブ メッセージによる検出 [46-52](#)

ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 [46-58](#)

ルーティング テーブル [46-9](#)

ルート

MBONE に入る個数の制限 [46-61](#)

Syslog メッセージのしきい値の変更 [46-61](#)

削除 [46-66](#)

すべてのアドバタイズ [46-64](#)

ネイバーへのデフォルト ルートのアドバタイズ [46-56](#)

表示 [46-66](#)

メトリック オフセットの追加 [46-64](#)

優先度 [46-64](#)

ユニキャスト ルート アドバタイズの制限 [46-52](#)

レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格納 [46-58](#)

dynamic auto trunking モード [13-18](#)

dynamic desirable trunking モード [13-18](#)

Dynamic Host Configuration Protocol

「DHCP ベースの自動設定」を参照

Dynamic Trunking Protocol (ダイナミック トランキング プロトコル)

「DTP」を参照

E

EBGP [38-48](#)

「EBGP」を参照

EEM 3.2 [33-5](#)

EIGRP

インターフェイス パラメータ、設定 [38-44](#)

コンポーネント [38-39](#)

スタブ ルーティング [38-46](#)

設定 [38-43](#)

定義 [38-39](#)

デフォルト設定 [38-40](#)

認証 [38-45](#)

モニタリング [38-47](#)

ELIN ロケーション [27-3](#)

errdisable ステート、BPDU [20-2](#)

EtherChannel

IEEE 802.3ad、説明 [36-7](#)

LACP

システム プライオリティ [36-24](#)

ステータスを表示する [36-26](#)

説明 [36-7](#)

ポート プライオリティ [36-25](#)

他の機能との相互動作 [36-8](#)

ホット スタンバイ ポート [36-23](#)

モード [36-8](#)

PAgP

Catalyst 1900 との互換性 [36-22](#)

学習方式とプライオリティの設定 [36-22](#)

仮想スイッチとの相互動作 [36-6](#)

サポート [1-5](#)

集約ポート ラーナー [36-22](#)

ステータスを表示する [36-26](#)

説明 [36-5](#)

デュアルアクションの検出での [36-6](#)

他の機能との相互動作 [36-7](#)

モード [36-6](#)

サポート [1-5](#)

自動作成 [36-5, 36-7](#)

スタックの変更、影響 [36-10](#)

ステータスを表示する [36-26](#)

設定時の注意事項 [36-12](#)

設定する

レイヤ 2 インターフェイス [36-13](#)

レイヤ 3 物理インターフェイス [36-17](#)

レイヤ 3 ポートチャネル論理インターフェイス [36-16](#)

説明 [36-2](#)

相互動作

STP での [36-12](#)

VLAN での [36-13](#)

チャネル グループ

番号付け [36-4](#)

物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインディング [36-4](#)

デフォルト設定 [36-11](#)

転送方式 [36-9, 36-21](#)

ポート グループ [12-6](#)

ポートチャネル インターフェイス

説明 [36-4](#)

番号付け [36-4](#)

レイヤ 3 インターフェイス [38-5](#)

ロード バランシング [36-9, 36-21](#)

論理インターフェイス、説明 [36-4](#)

EtherChannel ガード

イネーブルにする [20-18](#)説明 [20-10](#)ディセーブルにする [20-18](#)EUI [39-4](#)Express Setup [1-2](#)

「スタートアップ ガイド」も参照

Extensible Authentication Protocol over LAN [10-1](#)

F

fa0 インターフェイス [1-8](#)Fast Uplink Transition Protocol [20-6](#)FIB [38-96](#)

Flex Link

VLAN [21-2](#)VLAN ロード バランシングを設定する [21-11](#)設定 [21-9](#)設定時の注意事項 [21-8](#)説明 [21-1](#)デフォルト設定 [21-8](#)モニタリング [21-14](#)優先 VLAN の設定 [21-12](#)リンク ロード バランシング [21-2](#)Flex Link マルチキャスト高速コンバージェンス [21-3](#)

FTP

イメージ ファイル

アップロードする [51-35](#)サーバを準備する [51-31](#)ダウンロードする [51-32](#)古いイメージを削除する [51-34](#)

設定ファイル

アップロードする [51-16](#)概要 [51-13](#)サーバを準備する [51-14](#)ダウンロードする [51-14](#)

G

get-bulk-request オペレーション [32-3](#)get-next-request オペレーション [32-3, 32-5](#)get-request オペレーション [32-3, 32-4, 32-5](#)get-response オペレーション [32-3](#)

GUI

「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照

H

hello タイム

MSTP [19-23](#)STP [18-23](#)HFTM スペース [49-25](#)

Hot Standby Router Protocol (ホットスタンバイ ルータ プロトコル)

「HSRP」を参照

HP OpenView [1-6](#)HQATM スペース [49-25](#)

HSRP

ICMP リダイレクト メッセージのサポート [42-12](#)オブジェクト トラッキング [44-7](#)概要 [42-1](#)クラスタ グループにバインド [42-12](#)クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 [6-12](#)コマンド スイッチの冗長性 [1-1, 1-8](#)自動クラスタ回復 [6-13](#)スイッチ スタックの考慮事項 [42-5](#)設定 [42-5](#)タイマー [42-11](#)注意事項 [42-6](#)定義 [42-1](#)デフォルト設定 [42-5](#)トラッキング [42-8](#)認証ストリング [42-11](#)プライオリティ [42-8](#)モニタリング [42-13](#)ルーティングの冗長性 [1-15](#)

「クラスタ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

HTTP over SSL

「HTTPS」を参照

HTTPS 9-51

自己署名証明書 9-52

設定する 9-55

HTTP セキュア サーバ 9-51

Hulc Forwarding TCAM Manager

「HFTM スペース」を参照

Hulc QoS/ACL TCAM Manager

「HQATM」スペースを参照

IBGP

「IBGP」を参照

IBPG 38-48

ICMP

IPv6 39-4

traceroute と 49-18

サポート 1-16

時間超過メッセージ 49-18

到達不能と ACL 34-24

到達不能メッセージ 34-23

到達不能メッセージおよび IPv6 40-4

リダイレクト メッセージ 38-13

ICMP ping

概要 49-15

実行する 49-15

ICMP Router Discovery Protocol

「IRDP」を参照

ICMPv6 39-4

ICMP エコー動作

IP SLA 43-12

設定する 43-12

IDS 装置

入力 RSPAN と 29-23

入力 SPAN と 29-15

IEEE 802.1D

「STP」を参照

IEEE 802.1p 15-1

IEEE 802.1Q

カプセル化 13-16

設定の制限 13-19

その他の機能を含むトンネル ポート 17-6

タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 13-24

トランク ポートと 12-3

トンネリング

説明 17-1

デフォルト 17-4

他の機能との互換性 17-6

IEEE 802.1s

「MSTP」を参照

IEEE 802.1w

「RSTP」を参照

IEEE 802.1x

「ポートベース認証」を参照

IEEE 802.3ad

「EtherChannel」を参照

IEEE 802.3af

「PoE」を参照

IEEE 802.3x フロー制御 12-22

ifIndex 値、SNMP 32-6

IFS 1-7

IGMP

join メッセージ 24-3

概要 46-3

キャッシュ エントリの削除 46-66

クエリー 24-4

グループの表示 46-66

グループへのアクセスの制御 46-43

高速スイッチング 46-47

サポート 1-5

サポートされるバージョン 24-3

スイッチの設定

グループのメンバーとして 46-42

静的に接続されたメンバー 46-46

設定可能な脱退タイマー

イネーブルにする [24-12](#)説明 [24-6](#)脱退処理、イネーブルにする [24-11, 41-9](#)デフォルト設定 [46-42](#)

バージョン 1

説明 [46-3](#)バージョン 2 への変更 [46-44](#)

バージョン 2

クエリー タイムアウト値 [46-45](#)グループのプルーニング [46-46](#)最大クエリー応答時間値 [46-46](#)説明 [46-4](#)バージョン 1 への変更 [46-44](#)

フラッディングしたマルチキャスト トラフィック

インターフェイス上でディセーブルにする [24-14](#)クエリー送信要求 [24-13](#)グローバルな脱退 [24-13](#)時間の長さを制御する [24-13](#)フラッディング モードから回復する [24-13](#)ホストクエリー インターバル、変更 [46-44](#)マルチキャスト グループから脱退する [24-5](#)マルチキャスト グループに加入する [24-3](#)マルチキャストの到達可能性 [46-42](#)

レポート抑制

説明 [24-6](#)ディセーブルにする [24-17, 41-11](#)

IGMP グループ

最大番号を設定する [24-29](#)フィルタリングを設定する [24-30](#)

IGMP スヌーピング

VLAN の設定 [24-8](#)アドレス エイリアス設定 [24-2](#)イネーブルとディセーブル [24-8, 41-7](#)

クエリア

設定時の注意事項 [24-15](#)設定する [24-15](#)グローバル設定 [24-8](#)サポート [1-5](#)サポートされるバージョン [24-3](#)スイッチ スタックでの [24-7](#)スタックの変更と [24-7](#)設定 [24-7](#)即時脱退 [24-5](#)定義 [24-2](#)デフォルト設定 [24-7, 41-6](#)方式 [24-9](#)モニタリング [24-17, 41-12](#)

IGMP スロットリング

アクションを表示する [24-31](#)設定する [24-30](#)説明 [24-26](#)デフォルト設定 [24-27](#)

IGMP 即時脱退

イネーブルにする [24-11](#)設定時の注意事項 [24-12](#)説明 [24-5](#)

IGMP フィルタリング

サポート [1-5](#)設定する [24-27](#)説明 [24-26](#)デフォルト設定 [24-27](#)モニタリング [24-31](#)

IGMP プロファイル

コンフィギュレーション モード [24-27](#)設定する [24-28](#)適用する [24-28](#)IGMP ヘルパー [1-5, 46-6](#)IGP [38-27](#)interfaces range macro コマンド [12-15](#)

Interior Gateway Protocol

「IGP」を参照

Internet Group Management Protocol (インターネット グループ管理プロトコル)

「IGMP」を参照

IP ACL

QoS 分類の [35-8](#)

- 暗黙の拒否 [34-11, 34-17](#)
- 暗黙のマスク [34-11](#)
- 名前付き [34-17](#)
- 未定義 [34-24](#)
- IP Base イメージ [1-1](#)
- ip cef distributed コマンド [38-96](#)
- ip igmp profile コマンド [24-27](#)
- IP precedence [35-2](#)
- IP precedence/DSCP マップ、QoS での [35-71](#)
- IP SLA
 - ICMP エコー動作 [43-12](#)
 - SNMP サポート [43-2](#)
 - UDP ジッタ動作 [43-9](#)
 - 応答側
 - イネーブルにする [43-8](#)
 - 説明 [43-4](#)
 - 応答時間 [43-4](#)
 - オブジェクト トラッキング [44-9](#)
 - オブジェクト トラッキングの設定 [44-9](#)
 - オブジェクト モニタリング エージェントの追跡、設定 [44-11](#)
 - サポートされるメトリック [43-2](#)
 - しきい値のモニタリング [43-6](#)
 - スケジューリング [43-5](#)
 - 制御プロトコル [43-4](#)
 - 設定時の注意事項 [43-6](#)
 - 定義 [43-1](#)
 - デフォルト設定 [43-6](#)
 - 動作 [43-3](#)
 - 到達可能性トラッキング [44-9](#)
 - トラック ステート [44-9](#)
 - ネットワーク パフォーマンスを測定する [43-3](#)
 - マルチオペレーションのスケジューリング [43-5](#)
 - モニタリング [43-14](#)
 - 利点 [43-2](#)
- IP traceroute
 - 概要 [49-18](#)
 - 実行する [49-18](#)
- IPv4 ACL
 - インターフェイスに対して適用する [34-22](#)
 - 拡張、作成する [34-12](#)
 - 名前付き [34-17](#)
 - 標準、作成する [34-11](#)
- IPv4 と IPv6
 - デュアル プロトコル スタック [39-6](#)
- IPv6
 - ACL
 - precedence [40-2](#)
 - 一致条件 [40-3](#)
 - サポート対象 [40-3](#)
 - 制限 [40-3](#)
 - 表示 [40-9](#)
 - ポート [40-2](#)
 - ルータ [40-2](#)
 - CEFv6 [39-21](#)
 - Default Router Preference (DRP) [39-5](#)
 - Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) IPv6 [39-8](#)
 - EIGRP IPv6 コマンド [39-8](#)
 - ルータ ID [39-8](#)
 - ICMP [39-4](#)
 - OSPF [39-7](#)
 - SDM テンプレート [8-2, 40-1, 41-1](#)
 - アドレス [39-2](#)
 - アドレス フォーマット [39-2](#)
 - アドレスを割り当てる [39-12](#)
 - アプリケーション [39-5](#)
 - 機能の制限 [39-10](#)
 - サポート機能 [39-3](#)
 - 自動設定 [39-5](#)
 - スイッチ スタックと [39-11](#)
 - スイッチの制限 [39-10](#)
 - スタック マスター機能 [39-11](#)
 - スタティック ルートの概要 [39-7](#)
 - スタティック ルートを設定する [39-22](#)
 - ステートレス自動設定 [39-5](#)
 - 定義済み [39-1](#)
 - デフォルト設定 [39-12](#)

転送する [39-12](#)

ネイバー探索 [39-4](#)

パス MTU 探索 [39-4](#)

非サポート機能 [39-10](#)

モニタリング [39-29](#)

IPv6 の HSRP

設定 [39-27](#)

注意事項 [39-26](#)

IP アドレス

128 ビット [39-2](#)

IPv6 [39-2](#)

IP ルーティング [38-6](#)

MAC アドレス アソシエーション [38-10](#)

クラス [38-7](#)

クラスタ アクセス [6-2](#)

検出する [7-24](#)

候補またはメンバ [6-4, 6-14](#)

コマンド スイッチ [6-3, 6-12, 6-14](#)

冗長クラスタ [6-12](#)

スタンバイ コマンド スイッチ [6-12, 6-14](#)

デフォルト設定 [38-6](#)

モニタリング [38-19](#)

「IP 情報」も参照

IP サービス イメージ [1-1](#)

IP サービス レベル契約

「IP SLA」を参照

IP サービス レベル、分析する [43-1](#)

IP 情報

デフォルト設定 [3-3](#)

割り当て

DHCP ベースの自動設定を介して [3-3](#)

手動で [3-16](#)

IP 送信元ガード

イネーブル化 [22-20, 22-21](#)

ディセーブル化 [22-21](#)

IP ソース ガード

802.1x と [22-20](#)

DHCP スヌーピングと [22-17](#)

EtherChannels と [22-19](#)

TCAM エントリと [22-20](#)

VRF と [22-20](#)

スタティック バインディング

削除する [22-21](#)

追加する [22-20, 22-21](#)

スタティック ホスト [22-21](#)

設定時の注意事項 [22-19](#)

説明 [22-17](#)

送信元 IP アドレスと MAC アドレスのフィルタリング [22-17](#)

送信元 IP アドレスのフィルタリング [22-17](#)

デフォルト設定 [22-19](#)

トランク インターフェイスと [22-19](#)

バインディング設定

自動的な [22-17](#)

手動での [22-17](#)

バインディング テーブル [22-17](#)

表示する

アクティブ IP バインディングまたは MAC バインディング [22-27](#)

設定 [22-27](#)

バインディング [22-27](#)

フィルタリング

送信元 IP アドレス [22-17](#)

送信元 IP アドレスと MAC アドレス [22-17](#)

プライベート VLAN の [22-19](#)

プロビジョニングされるスイッチ上での [22-20](#)

ポート セキュリティと [22-19](#)

ルーテッド ポートと [22-19](#)

IP ダイレクト ブロードキャスト [38-16](#)

IP 電話

QoS でポート セキュリティを確立する [35-45](#)

QoS と [15-1](#)

QoS の信頼境界 [35-45](#)

自動分類とキューイング [35-21](#)

設定する [15-4](#)

IP ブロードキャスト アドレス [38-18](#)

IP プロトコル

ACL での [34-14](#)

ルーティング [1-15](#)

IP ポート セキュリティ、スタティック ホスト用

PVLAN ホスト ポートでの [22-25](#)

レイヤ 2 アクセス ポート [22-21](#)

IP マルチキャスト ルーティング

IGMP スヌーピングと [24-2](#)

MBONE

sdr キャッシュ エントリの削除 [46-66](#)

sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 [46-49](#)

sdr キャッシュの表示 [46-67](#)

sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 [46-49](#)

Session Directory (sdr) ツール、説明 [46-49](#)

アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 [46-61](#)

会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット [46-49](#)

説明 [46-48](#)

PIMv1 および PIMv2 の相互運用性 [46-12](#)

RP

PIMv2 BSR の設定 [46-32](#)

自動 RP および BSR の使用 [46-36](#)

自動 RP の設定 [46-28](#)

手動での割り当て [46-27](#)

マッピング情報のモニタリング [46-37](#)

アドレス

すべてのマルチキャスト ルータ [46-3](#)

全ホスト [46-3](#)

ホスト グループ アドレス範囲 [46-3](#)

イネーブル化

PIM モード [46-14](#)

マルチキャスト転送 [46-13](#)

管理用スコープの境界、説明 [46-50](#)

逆経路チェック (RPF) [46-8](#)

グループ /RP マッピング

BSR [46-7](#)

自動 RP [46-7](#)

シスコの実装 [46-2](#)

自動 RP

BSR による使用 [46-36](#)

概要 [46-7](#)

既存の SM クラウドへの追加 [46-29](#)

キャッシュのクリア [46-66](#)

候補 RP スプーフィングの禁止 [46-31](#)

新規インターネットワークでの設定 [46-29](#)

設定時の注意事項 [46-12](#)

着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング [46-31](#)

問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 [46-30](#)

利点 [46-28](#)

スタッキング

スタック マスターの機能 [46-10](#)

スタック メンバの機能 [46-10](#)

設定

IP マルチキャスト境界 [46-50](#)

基本的なマルチキャスト ルーティング [46-13](#)

デフォルト設定 [46-11](#)

統計情報、システムおよびネットワークの表示 [46-66](#)

ブートストラップ ルータ

IP マルチキャスト境界の定義 [46-34](#)

PIM ドメイン境界の定義 [46-33](#)

概要 [46-7](#)

候補 BSR の設定 [46-34](#)

候補 RP の設定 [46-35](#)

自動 RP による使用 [46-36](#)

設定時の注意事項 [46-12](#)

プロトコルの動作 [46-2](#)

マルチキャスト転送、説明 [46-8](#)

モニタリング

パケット速度および損失情報 [46-67](#)

パスのトレース [46-67](#)

ピアリング デバイス [46-67](#)

ルーティング テーブル

削除 [46-66](#)

表示 [46-66](#)

「CGMP」も参照

「DVMRP」も参照

「IGMP」も参照

「PIM」も参照

IP ユニキャスト ルーティング

ARP 38-10

EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 38-5

IGP 38-27

IPv6 39-3

IP アドレス指定

クラス 38-7

設定 38-6

IRDP 38-14

MAC アドレスおよび IP アドレス 38-10

SVI を使用 38-5

UDP 38-17

VLAN 間 38-2

アドミニストレーティブ ディスタンス 38-98, 38-109

アドレス解決 38-10

イネーブル化 38-20

逆アドレス解決 38-10

クラスレス ルーティング 38-8

再配信 38-100

サブネット ゼロ 38-8

サブネット マスク 38-7

受動インターフェイス 38-108

スーパーネット 38-8

スタティック ルーティング 38-3

スタティック ルートの設定 38-98

設定する手順 38-5

ダイナミック ルーティング 38-3

ダイレクトブロードキャスト 38-16

ディセーブル化 38-21

デフォルト

アドレス指定の設定 38-6

ゲートウェイ 38-13

ネットワーク 38-99

ルーティング 38-3

ルート 38-99

認証キー 38-110

ブロードキャスト

アドレス 38-18

ストーム 38-15

パケット 38-15

フラッドイング 38-18

プロキシ ARP 38-10

プロトコル

ダイナミック 38-3

ディスタンスベクトル 38-3

リンクステート 38-3

ルーテッド ポート 38-5

レイヤ 3 インターフェイス 38-5

レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て 38-7

「BGP」も参照

「EIGRP」も参照

「OSPF」も参照

「RIP」も参照

IP ルーティング

イネーブル化 38-20

インターフェイスを接続する 12-11

ディセーブル化 38-21

IP ルート、モニタリング 38-112

IRDP

サポート 1-16

設定 38-14

定義 38-14

IS-IS

show コマンド 38-79

アドレス 38-70

エリア ルーティング 38-70

システム ルーティング 38-70

デフォルト設定 38-71

モニタリング 38-79

ISL

IEEE 802.1 トンネリングによるトランキンク 17-4

IPv6 と 39-3

カプセル化 1-10, 13-16

トランク ポートと 12-3

ISO CLNS

clear コマンド [38-79](#)NET [38-70](#)NSAP [38-70](#)OSI 標準 [38-70](#)ダイナミック ルーティング プロトコル [38-70](#)モニタリング [38-79](#)

ISO IGRP

エリア ルーティング [38-70](#)システム ルーティング [38-70](#)

J

join メッセージ、IGMP [24-3](#)

K

KDC

説明 [9-41](#)

「Kerberos」も参照

Kerberos

KDC [9-41](#)TGT [9-43](#)暗号化ソフトウェア イメージ [9-40](#)クレデンシャル [9-41](#)サーバ [9-42](#)サポート [1-13](#)信頼済みサードパーティとしてのスイッチ [9-41](#)設定する [9-45](#)設定例 [9-41](#)説明 [9-41](#)操作 [9-43](#)チケット [9-41](#)

認証する

KDC [9-43](#)境界スイッチ [9-43](#)ネットワーク サービス [9-45](#)用語 [9-42](#)レルム [9-42](#)

L

l2protocol-tunnel コマンド [17-13](#)

LACP

「EtherChannel」を参照

レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-9](#)LDAP [4-2](#)

LED、スイッチ

「ハードウェア インストレーション ガイド」を参照

Lightweight Directory Access Protocol

「LDAP」を参照

Link Aggregation Control Protocol

「EtherChannel」を参照

Link Layer Discovery Protocol

「CDP」を参照

Link State Advertisement (LSA) [38-34](#)

LLDP

イネーブルにする [27-6](#)概要 [27-1](#)サポートされる TLV [27-2](#)スイッチ スタックの考慮事項 [27-2](#)

設定

デフォルト設定 [27-5](#)設定する [27-5](#)特性 [27-6](#)送信タイマーとホールドタイム、設定する [27-6](#)モニタリングとメンテナンス [27-11](#)

LLDP-MED

概要 [27-1, 27-2](#)サポートされる TLV [27-2](#)

設定する

TLV [27-7](#)手順 [27-5](#)モニタリングとメンテナンス [27-11](#)

LLDP Media Endpoint Discovery

「LLDP-MED」を参照

Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー [1-24, 1-31](#)LRE プロファイル、スイッチ クラスタでの考慮事項 [6-17](#)

M

MAB

「MAC 認証バイパス」を参照

MAB エージング タイム [1-10](#)

MAB 非アクティビティ タイマー

デフォルト設定 [10-37](#)

範囲 [10-39](#)

MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス
TLV [27-2](#)

MAC アドレス

ACL での [34-30](#)

IP アドレス アソシエーション [38-10](#)

IP ソース バインディング テーブルで表示する [22-27](#)

VLAN でのラーニングをディセーブルにする [7-23](#)

VLAN との対応付け [7-13](#)

アドレス テーブルを構築する [7-13](#)

エージング タイム [7-14](#)

検出する [7-24](#)

スタティック

許可する [7-22, 7-24](#)

削除する [7-21](#)

追加する [7-21](#)

特性 [7-20](#)

ドロップする [7-22](#)

ダイナミック

削除する [7-15](#)

ラーニング [7-13](#)

デフォルト設定 [7-14](#)

表示する [7-24](#)

MAC アドレス /VLAN マッピング [13-29](#)

MAC アドレス通知、サポート [1-17](#)

MAC アドレス テーブル移動更新

設定時の注意事項 [21-8](#)

設定する [21-12](#)

説明 [21-6](#)

デフォルト設定 [21-8](#)

モニタリング [21-14](#)

MAC アドレス ラーニング [1-7](#)

MAC アドレス ラーニング、VLAN でディセーブルにする [7-23](#)

MAC 拡張アクセス リスト

QoS 分類の [35-5](#)

QoS を設定する [35-52](#)

作成する [34-30](#)

定義済み [34-30](#)

レイヤ 2 インターフェイスに対して適用する [34-32](#)

MAC 認証バイパス [10-39](#)

「MAB」を参照

概要 [10-18](#)

設定する [10-58](#)

maximum-paths コマンド [38-57, 38-97](#)

MDA

設定時の注意事項 [10-13 ~ 10-14](#)

説明 [1-11, 10-13](#)

認証プロセスでの例外 [10-6](#)

MHSRP [42-4](#)

MIB

SNMP の相互作用 [32-4](#)

概要 [32-1](#)

mrrouter ポート [21-3, 21-5](#)

MSDP

MSDP 接続および統計情報のクリア [47-18](#)

SA メッセージ

キャッシュ エントリのクリア [47-18](#)

モニタリング [47-18](#)

Source-Active メッセージ

TTL によるデータの制限 [47-13](#)

アドバタイズされる送信元の制限 [47-9](#)

キャッシング [47-6](#)

着信のフィルタリング [47-14](#)

定義 [47-2](#)

ピアからのフィルタリング [47-10](#)

ピアへのフィルタリング [47-12](#)

概要 [47-1](#)

加入遅延、定義 [47-6](#)

サポート [1-16](#)

- 送信元情報の制御
 - スイッチから発信 [47-8](#)
 - スイッチで受信 [47-13](#)
 - スイッチによる転送 [47-11](#)
- デフォルト設定 [47-4](#)
- デンス モード領域
 - SA メッセージの送信 [47-16](#)
 - 発信元アドレスの指定 [47-17](#)
- 発信元アドレス、変更 [47-17](#)
- ピア
 - シャットダウン [47-15](#)
 - 送信元情報の要求 [47-8](#)
 - デフォルトの設定 [47-4](#)
 - ピアリング関係、概要 [47-1](#)
 - モニタリング [47-18](#)
- ピア RPF フラッドイング [47-2](#)
- フィルタリング
 - 着信 SA メッセージ [47-14](#)
 - ピアからの SA 要求 [47-10](#)
 - ピアへの SA メッセージ [47-12](#)
- メッシュ グループ
 - 設定 [47-15](#)
 - 定義 [47-15](#)
- 利点 [47-3](#)
- MSTP
 - BPDU ガード
 - イネーブルにする [20-14](#)
 - 説明 [20-2](#)
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブルにする [20-15](#)
 - 説明 [20-3](#)
 - CIST、説明 [19-3](#)
 - CIST リージョナル ルート [19-3, 19-5](#)
 - CIST ルート [19-5](#)
 - CST
 - 定義 [19-3](#)
 - リージョン間の動作 [19-4](#)
 - EtherChannel ガード
 - イネーブルにする [20-18](#)
 - 説明 [20-10](#)
 - IEEE 802.1D との相互運用性
 - 移行プロセスの再起動 [19-27](#)
 - 説明 [19-9](#)
 - IEEE 802.1s
 - 実装 [19-6](#)
 - ポートの役割名の変更 [19-7](#)
 - 用語 [19-5](#)
 - IST
 - 定義 [19-2](#)
 - マスター [19-3](#)
 - リージョン内の動作 [19-3](#)
 - MST リージョン
 - CIST [19-3](#)
 - IST [19-2](#)
 - サポートされるスパニングツリー インスタンス [19-2](#)
 - 設定 [19-16](#)
 - 説明 [19-2](#)
 - ホップ カウント メカニズム [19-5](#)
 - Port Fast
 - イネーブルにする [20-13](#)
 - 説明 [20-2](#)
 - Port Fast 対応ポートのシャットダウン [20-2](#)
 - VLAN と MST インスタンスのマッピング [19-17](#)
 - インターフェイスの状態、転送のブロッキング [20-2](#)
 - 概要 [19-2](#)
 - 拡張システム ID
 - 異常動作 [19-18](#)
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 [19-19](#)
 - ルート スイッチへの影響 [19-18](#)
 - 境界ポート
 - 設定時の注意事項 [19-16](#)
 - 説明 [19-6](#)
 - サポートされるインスタンス [18-11](#)
 - サポートされるオプション機能 [1-9](#)
 - スタックの変更、影響 [19-8](#)
 - ステータスの表示 [19-27](#)

ステータス、表示 [19-27](#)

設定

MST リージョン [19-16](#)

高速コンバージェンス用リンク タイプ [19-25](#)

最大エージング タイム [19-25](#)

最大ホップ カウント [19-25](#)

スイッチ プライオリティ [19-23](#)

セカンダリ ルート スイッチ [19-19](#)

転送遅延時間 [19-24](#)

ネイバー タイプ [19-26](#)

パス コスト [19-21](#)

ポート プライオリティ [19-20](#)

ルート スイッチ [19-18](#)

設定時の注意事項 [19-15, 20-12](#)

設定する

hello タイム [19-23](#)

デフォルト設定 [19-15](#)

デフォルトのオプション機能設定 [20-12](#)

モード間での相互運用性と互換性 [18-11](#)

モードのイネーブル化 [19-16](#)

ルート ガード

イネーブルにする [20-18](#)

説明 [20-10](#)

ルート スイッチ

異常動作 [19-18](#)

拡張システム ID の影響 [19-18](#)

設定 [19-18](#)

ルート スイッチ選択を防止する [20-10](#)

ループ ガード

イネーブルにする [20-19](#)

説明 [20-11](#)

multiauth

アクセス不能認証バイパスのサポート [10-25](#)

multiauth モード

「複数認証モード」を参照

Multicast Source Discovery Protocol

「MSDP」を参照

multicast storm-control コマンド [25-4](#)

Multiple HSRP

「MHSRP」を参照

Multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイスでの

「Multi-VRF CE」を参照

Multi-VRF CE

サポート [1-16](#)

設定 [38-82](#)

設定時の注意事項 [38-83](#)

設定例 [38-91](#)

定義 [38-80](#)

デフォルト設定 [38-83](#)

ネットワーク コンポーネント [38-82](#)

パケット転送処理 [38-82](#)

MVR

IGMPv3 と [24-22](#)

アドレスのエイリアス [24-22](#)

アプリケーション例 [24-20](#)

インターフェイスの設定 [24-24](#)

グローバル パラメータを設定する [24-22](#)

サポート [1-5](#)

スイッチ スタックでの [24-21](#)

設定時の注意事項 [24-22](#)

説明 [24-19](#)

デフォルト設定 [24-21](#)

マルチキャスト TV アプリケーション [24-20](#)

モード [24-23](#)

モニタリング [24-25](#)

N

NAC

AAA ダウン ポリシー [1-13](#)

RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 [10-59](#)

RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 [10-59](#)

アクセス不能認証バイパス [1-12, 10-55](#)

クリティカル認証 [10-25, 10-55](#)

レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 [1-12, 10-31, 10-59](#)

レイヤ 2 IP 検証 [1-12](#)

NameSpace Mapper

「NSM」を参照

NEAT

概要 [10-32](#)

設定する [10-60](#)

Network Admission Control

NAC

Network Assistant

guide モード [1-2](#)

イメージファイルをダウンロードする [1-2](#)

ウィザード [1-2](#)

管理オプション [1-2](#)

スイッチ スタックを管理する [5-2, 5-17](#)

スイッチをアップグレードする [51-25](#)

説明 [1-6](#)

利点 [1-2](#)

no switchport コマンド [12-5](#)

Not-So-Stubby-Area

「NSSA」を参照

no コマンド [2-4](#)

NSAP、ISO IGRP アドレスとして [38-70](#)

NSF 認識

IS-IS [38-72](#)

NSM [4-3](#)

NSSA、OSPF [38-34](#)

NTP

アソシエーション

定義済み [7-2](#)

概要 [7-2](#)

サポート [1-7](#)

時刻

サービス [7-2](#)

同期をとる [7-2](#)

層 [7-2](#)

O

Open1x

設定する [10-65](#)

Open1x 認証

概要 [10-31](#)

Open Shortest Path First

「OSPF」を参照

OSPF

IPv6 用 [39-7](#)

LSA グループ ペーシング [38-37](#)

インターフェイス パラメータ、設定 [38-33](#)

エリア パラメータ、設定 [38-34](#)

仮想リンク [38-35](#)

経路集約 [38-35](#)

サポート [1-15](#)

設定 [38-32](#)

説明 [38-27](#)

デフォルト設定

設定 [38-29](#)

メトリック [38-36](#)

ルート [38-35](#)

モニタリング [38-38](#)

ルータ ID [38-38](#)

P

PAgP

「EtherChannel」を参照

レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-9](#)

PBR

イネーブル化 [38-105](#)

高速スイッチングされたポリシーベース ルーティング [38-107](#)

定義 [38-103](#)

ローカル ポリシーベース ルーティング [38-107](#)

PC (パッシブ コマンド スイッチ) [6-11](#)

PE/CE ルーティング、設定 [38-90](#)

Per-VLAN Spanning-Tree plus

「PVST+」を参照

PIM

Shortest Path Tree、使用の延期 [46-39](#)

概要 [46-4](#)

共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 [46-38](#)

サポート [1-16](#)

スタブ ルーティング

イネーブル化 [46-25](#)

概要 [46-5](#)

設定時の注意事項 [46-25](#)

表示 [46-67](#)

スパース モード

RPF 検索 [46-9](#)

概要 [46-5](#)

加入メッセージおよび共有ツリー [46-5](#)

プルーニング メッセージ [46-5](#)

デフォルト設定 [46-11](#)

デンス モード

RPF 検索 [46-9](#)

概要 [46-5](#)

ランデブー ポイント (RP)、説明 [46-5](#)

ネイバーの表示 [46-67](#)

バージョン

v2 の改善点 [46-4](#)

相互運用性 [46-12](#)

相互運用性に関するトラブルシューティング [46-37](#)

モードのイネーブル化 [46-14](#)

ルータ クエリー メッセージ インターバル、変更 [46-40](#)

PIM-DVMRP、スヌーピング方式としての [24-9](#)

ping

概要 [49-15](#)

実行する [49-15](#)

文字出力の説明 [49-16](#)

PoE

auto モード [12-9](#)

CDP に対する電力ネゴシエーションの拡張機能 [12-8](#)

Cisco インテリジェント電力管理 [12-8](#)

IEEE 電力分類レベル [12-9](#)

static モード [12-10](#)

サポートされるデバイス [12-7](#)

サポートされる標準 [12-8](#)

受電装置の検出と初期電力割り当て [12-8](#)

設定する [12-24](#)

低電力モードで動作する高電力装置 [12-8](#)

電力管理モード [12-9](#)

電力消費 [12-25](#)

電力消費を伴う CDP、説明 [12-8](#)

電力ネゴシエーションを伴う CDP、説明 [12-8](#)

トラブルシューティング [49-13](#)

パワー バジエット [12-25](#)

POP [1-31](#)

Port Aggregation Protocol

「EtherChannel」を参照

Port Fast

イネーブルにする [20-13](#)

サポート [1-9](#)

説明 [20-2](#)

モード、スパニング ツリー [13-30](#)

Protocol-Independent Multicast Protocol

「PIM」を参照

PVST+

IEEE 802.1Q トランッキングの相互運用性 [18-12](#)

サポートされるインスタンス [18-11](#)

説明 [18-10](#)

Q

QoS

DSCP 透過 [35-47](#)

IP 電話

検出と信頼済みの設定 [35-21, 35-45](#)

自動分類とキューイング [35-21](#)

MQC コマンドと [35-1](#)

QoS ラベル、定義済み [35-4](#)

暗黙の拒否 [35-8](#)

概要 [35-2](#)

基本モデル [35-4](#)

キュー

SRR、説明 [35-15](#)

WTD、説明 [35-14](#)

- 高優先順位（緊急） [35-20, 35-87](#)
- 出力特性を設定する [35-80](#)
- 入力特性を設定する [35-76](#)
- 場所 [35-14](#)
- クラス マップ
 - 設定する [35-53](#)
 - 表示 [35-88](#)
- グローバルにイネーブルにする [35-42](#)
- 再書き込み [35-20](#)
- サポート [1-14](#)
- 自動 QoS
 - 実行コンフィギュレーションでの影響 [35-33](#)
 - 初期設定を表示する [35-36](#)
 - 生成コマンドのリスト [35-24, 35-28](#)
 - 生成コマンドを表示する [35-36](#)
 - 設定時の注意事項 [35-33](#)
 - 設定とデフォルト表示 [35-36](#)
 - 説明 [35-21](#)
 - ディセーブルにする [35-36](#)
 - トラフィックを分類する [35-22](#)
- 出力インターフェイスで帯域幅を制限する [35-87](#)
- 出力キュー
 - DSCP 値または CoS 値のマッピング [35-83](#)
 - SRR の共有重みを設定する [35-86](#)
 - SRR のシェーピング重みを設定する [35-85](#)
 - WTD しきい値の設定 [35-81](#)
 - WTD、説明 [35-19](#)
 - しきい値マップを表示する [35-84](#)
 - スケジューリング、説明 [35-4](#)
 - 説明 [35-4](#)
 - バッファ領域を割り当てる [35-81](#)
 - バッファ割り当てスキーム、説明 [35-18](#)
 - フローチャート [35-18](#)
- 信頼状態
 - 信頼済みデバイス [35-45](#)
 - 説明 [35-5](#)
 - ドメイン内 [35-43](#)
 - 別のドメインとの境界 [35-47](#)
 - 設定時の注意事項
- 自動 QoS [35-33](#)
- 標準 QoS [35-39](#)
- 設定する
 - DSCP の透過性 [35-47](#)
 - DSCP マップ [35-70](#)
 - IP 拡張 ACL [35-51](#)
 - IP 標準 ACL [35-50](#)
 - MAC ACL [35-52](#)
 - 自動 QoS [35-21](#)
 - 集約ポリシング機能 [35-68](#)
 - 出力キューの特性 [35-80](#)
 - 信頼境界 [35-45](#)
 - デフォルト ポート CoS 値 [35-45](#)
 - ドメイン内のポートの信頼状態 [35-43](#)
 - 入力キューの特性 [35-76](#)
 - 別のドメインとの境界での DSCP 信頼状態 [35-47](#)
 - ポリシー マップ、階層型 [35-61](#)
- デフォルト自動設定 [35-22](#)
- デフォルトの標準設定 [35-37](#)
- 統計情報を表示する [35-88](#)
- 入力キュー
 - DSCP 値または CoS 値のマッピング [35-76](#)
 - SRR の共有重みを設定する [35-78](#)
 - WTD しきい値の設定 [35-76](#)
 - WTD、説明 [35-17](#)
 - しきい値マップを表示する [35-77](#)
 - スケジューリング、説明 [35-4](#)
 - 説明 [35-4](#)
 - 帯域幅を割り当てる [35-78](#)
 - バッファと帯域幅の割り当て、説明 [35-17](#)
 - バッファ領域を割り当てる [35-78](#)
 - プライオリティ キュー、説明 [35-17](#)
 - プライオリティ キューを設定する [35-79](#)
 - フローチャート [35-16](#)
- パケットの変更 [35-20](#)
- フローチャート
 - 出力キューイングとスケジューリング [35-18](#)
 - 入力キューイングとスケジューリング [35-16](#)

分類 [35-7](#)

ポリシングとマーキング [35-11](#)

分類

DSCP の透過性、説明 [35-47](#)

IP ACL、説明 [35-6, 35-8](#)

IP トラフィックのオプション [35-6](#)

MAC ACL、説明 [35-5, 35-8](#)

クラス マップ、説明 [35-8](#)

信頼 DSCP、説明 [35-5](#)

信頼 IP precedence、説明 [35-5](#)

信頼済み CoS、説明 [35-5](#)

定義済み [35-4](#)

転送処理 [35-3](#)

非 IP トラフィックのオプション [35-5](#)

フレームとパケットでの [35-3](#)

フローチャート [35-7](#)

ポリシー マップ、説明 [35-8](#)

ポリサー

設定 [35-59, 35-64, 35-68](#)

ポリシー、インターフェイスに接続する [35-9](#)

ポリシー マップ

SVI での階層 [35-61](#)

階層 [35-9](#)

特性 [35-55](#)

表示する [35-89](#)

物理ポートでの非階層 [35-55](#)

ポリシング

説明 [35-4, 35-9](#)

トークン パケット アルゴリズム [35-10](#)

ポリシング機能

数 [35-40](#)

説明 [35-9](#)

タイプ [35-10](#)

表示する [35-88](#)

マーキング、説明 [35-4, 35-9](#)

マークダウン アクション [35-59, 35-64](#)

マッピング テーブル

CoS/DSCP [35-70](#)

DSCP/CoS [35-73](#)

DSCP/DSCP 変換 [35-74](#)

IP precedence/DSCP [35-71](#)

タイプ [35-13](#)

表示する [35-88](#)

ポリシング済み DSCP [35-72](#)

QoS の CoS 入力キューしきい値マップ [35-17](#)

QoS の DSCP 入力キューしきい値マップ [35-17](#)

Quality of Service

「QoS」を参照

R

RADIUS

AAA サーバ グループを定義する [9-32](#)

概要 [9-18](#)

クラスタでの [6-17](#)

サーバ ロード バランシング [9-40](#)

サーバを指定する [9-28](#)

サポート [1-13](#)

設定する

アカウンティング [9-35](#)

通信、グローバル [9-28, 9-36](#)

通信、サーバ単位 [9-28](#)

認可 [9-34](#)

認証 [9-30](#)

複数 UDP ポート [9-28](#)

設定を表示する [9-40](#)

操作 [9-20](#)

属性

ベンダー固有 [9-36](#)

ベンダー専用 [9-38](#)

デフォルト設定 [9-28](#)

ネットワーク環境の提案 [9-19](#)

方式リスト、定義済み [9-27](#)

ユーザに対するサービスを制限する [9-34](#)

ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする [9-35](#)

RADIUS 許可の変更 [9-20](#)

Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus

- 「Rapid PVST+」を参照
- Rapid PVST+
 - IEEE 802.1Q トランッキングの相互運用性 [18-12](#)
 - サポートされるインスタンス [18-11](#)
 - 説明 [18-10](#)
- RARP [38-10](#)
- rcommand コマンド [6-17](#)
- RCP
 - イメージ ファイル
 - アップロードする [51-40](#)
 - サーバを準備する [51-36](#)
 - ダウンロードする [51-37](#)
 - 古いイメージを削除する [51-39](#)
 - 設定ファイル
 - アップロードする [51-19](#)
 - 概要 [51-17](#)
 - サーバを準備する [51-17](#)
 - ダウンロードする [51-18](#)
- Remote Authentication Dial-In User Service
 - 「RADIUS」を参照
- RFC
 - 1058、RIP [38-21](#)
 - 1112、IP マルチキャストと IGMP [24-2](#)
 - 1157、SNMPv1 [32-2](#)
 - 1163、BGP [38-48](#)
 - 1166、IP アドレス [38-7](#)
 - 1253、OSPF [38-27](#)
 - 1267、BGP [38-48](#)
 - 1305、NTP [7-2](#)
 - 1587、NSSA [38-28](#)
 - 1757、RMON [30-2](#)
 - 1771、BGP [38-48](#)
 - 1901、SNMPv2C [32-2](#)
 - 1902 ～ 1907、SNMPv2 [32-2](#)
 - 2236、IP マルチキャストと IGMP [24-2](#)
 - 2273-2275、SNMPv3 [32-2](#)
- RFC 5176 規定 [9-22](#)
- RIP
 - IPv6 用 [39-7](#)
 - アドバタイズメント [38-22](#)
 - サポート [1-15](#)
 - サマリー アドレス [38-25](#)
 - スプリット ホライズン [38-25](#)
 - 設定 [38-23](#)
 - 説明 [38-22](#)
 - デフォルト設定 [38-22](#)
 - 認証 [38-25](#)
 - ホップ カウント [38-22](#)
- RMON
 - アラームとイベントをイネーブルにする [30-3](#)
 - 概要 [30-1](#)
 - サポート [1-17](#)
 - サポートされるグループ [30-2](#)
 - ステータスを表示する [30-6](#)
 - デフォルト設定 [30-3](#)
 - 統計情報
 - グループ イーサネットを収集する [30-5](#)
 - グループ履歴を収集する [30-5](#)
- route-map コマンド [38-106](#)
- Routing Information Protocol
 - 「RIP」を参照
- RPS
 - 「Cisco Redundant Power System 2300」を参照
- RPS 2300
 - 「Cisco Redundant Power System 2300」を参照
- RSPAN
 - VLAN ベース [29-7](#)
 - 宛先ポート [29-8](#)
 - 概要 [1-17, 29-1](#)
 - 受信トラフィック [29-5](#)
 - スイッチ スタックでの [29-2](#)
 - スタックの変更と [29-10](#)
 - ステータスを表示する [29-25](#)
 - セッション
 - 作成する [29-19](#)
 - 定義済み [29-4](#)
 - 特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制限する [29-24](#)

入力トラフィックをイネーブルにする [29-23](#)

モニタリングされるポートを指定する [29-19](#)

セッションの制限 [29-11](#)

設定時の注意事項 [29-18](#)

送信トラフィック [29-6](#)

送信元ポート [29-6](#)

定義済み [29-3](#)

デフォルト設定 [29-11](#)

特性 [29-9](#)

他の機能との相互動作 [29-9](#)

モニタリングされるポート [29-6](#)

モニタリング ポート [29-8](#)

RSTP

BPDU

形式 [19-12](#)

処理 [19-13](#)

IEEE 802.1D との相互運用性

移行プロセスの再起動 [19-27](#)

説明 [19-9](#)

トポロジの変更 [19-14](#)

「MSTP」も参照

アクティブ トポロジ [19-10](#)

概要 [19-9](#)

高速コンバージェンス

エッジ ポートおよび Port Fast [19-10](#)

クロススタック高速コンバージェンス [19-11](#)

説明 [19-10](#)

ポイントツーポイント リンク [19-10, 19-25](#)

ルート ポート [19-10](#)

指定スイッチ、定義 [19-9](#)

指定ポート、定義 [19-9](#)

提案合意ハンドシェイク プロセス [19-10](#)

ポートの役割

説明 [19-9](#)

同期 [19-11](#)

ルート ポート、定義 [19-9](#)

S

SCP

SSH と [9-58](#)

設定する [9-58](#)

「SCP」を参照

SC (スタンバイ コマンド スイッチ) [6-11](#)

SDM

スイッチ スタックの考慮事項 [5-11](#)

テンプレート

数 [8-1](#)

設定する [8-6](#)

SDM テンプレート [40-4](#)

集約 [8-1](#)

設定時の注意事項 [8-5](#)

設定する [8-5](#)

タイプ [8-1](#)

デスクトップ [8-1](#)

デュアル IPv4/IPv6 [8-2](#)

SDM ミスマッチ モード [5-11, 8-4](#)

Secure Copy Protocol

Secure Socket Layer

「SSL」を参照

set-request オペレーション [32-5](#)

SFP

ステータス、表示する [49-14](#)

セキュリティと識別情報 [49-13](#)

番号付け [12-12](#)

モニタリング ステータス [12-34, 49-14](#)

show access-lists hw-summary コマンド [34-24](#)

show cdp traffic コマンド [26-5](#)

show cluster members コマンド [6-17](#)

show configuration コマンド [12-27](#)

show forward コマンド [49-22](#)

show interfaces switchport [21-4](#)

show interfaces コマンド [12-21, 12-27](#)

show l2protocol コマンド [17-14, 17-16, 17-17](#)

show lldp traffic コマンド [27-12](#)

show platform forward コマンド [49-22](#)

show platform team コマンド [49-25, 49-26](#)

show running-config コマンド

- ACL を表示する [34-22, 34-23, 34-35, 34-37](#)
- インターフェイスの説明 [12-27](#)

show コマンドと more コマンドの出力、フィルタリング [2-9](#)

shutdown コマンド、インターフェイスでの [12-35](#)

SNAP [26-1](#)

SNMP

- CPU しきい値通知を設定する [32-17](#)
- ifIndex 値 [32-6](#)
- IP SLA と [43-2](#)
- MIB 変数にアクセスする [32-4](#)
- TFTP サーバによるアクセスを制限する [32-18](#)
- エージェント
 - 説明 [32-4](#)
 - ディセーブルにする [32-8](#)
- エンジン ID [32-7](#)
- 概要 [32-1, 32-4](#)
- クラスタでの [6-15](#)
- クラスタを管理する [6-18](#)
- グループ [32-7, 32-10](#)
- コミュニティ ストリング
 - 概要 [32-4](#)
 - クラスタ スイッチの [32-4](#)
 - 設定する [32-8](#)
- サポートされるバージョン [32-2](#)
- システム接点と場所 [32-17](#)
- システム ログ メッセージを NMS に対して制限する [31-10](#)
- 情報
 - イネーブルにする [32-16](#)
 - 説明 [32-5](#)
 - ディセーブルにする [32-16](#)
 - トラップ キーワードと [32-13](#)
 - トラップとの違い [32-5](#)
 - ステータス、表示する [32-19](#)
 - セキュリティ レベル [32-3](#)
 - 設定例 [32-18](#)

帯域内管理 [1-8](#)

通知 [32-5](#)

デフォルト設定 [32-7](#)

トラップ

- MAC アドレス通知をイネーブルにする [7-15, 7-17, 7-19](#)
- イネーブルにする [32-13](#)
- 概要 [32-1, 32-5](#)
- 情報との違い [32-5](#)
- 説明 [32-4, 32-5](#)
- タイプ [32-13](#)
- ディセーブルにする [32-16](#)
- トラップ マネージャ、設定する [32-14](#)
- 認証レベル [32-11](#)
- ホスト [32-7](#)
- マネージャ機能 [1-6, 32-3](#)
- ユーザ [32-7, 32-10](#)

SNMPv1 [32-2](#)

SNMPv2C [32-2](#)

SNMPv3 [32-3](#)

SNMP と Syslog、IPv6 による [39-9](#)

Source-Specific Multicast

- 「SSM」を参照

SPAN

- VLAN ベース [29-7](#)
- 宛先ポート [29-8](#)
- 概要 [1-17, 29-1](#)
- 受信トラフィック [29-5](#)
- スタックの変更と [29-10](#)
- ステータスを表示する [29-25](#)
- セッション
 - 宛先（モニタリング）ポートを削除する [29-14](#)
 - 作成する [29-12](#)
 - 定義済み [29-4](#)
 - 特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制限する [29-17](#)
 - 入力転送を設定する [29-16, 29-24](#)
 - 入力トラフィックをイネーブルにする [29-15](#)
 - モニタリングされるポートを指定する [29-12](#)

- セッションの制限 [29-11](#)
- 設定時の注意事項 [29-11](#)
- 送信トラフィック [29-6](#)
- 送信元ポート [29-6](#)
- デフォルト設定 [29-11](#)
- ポート、制約事項 [25-13](#)
- 他の機能との相互動作 [29-9](#)
- モニタリングされるポート [29-6](#)
- モニタリング ポート [29-8](#)
- SPAN トラフィック [29-5](#)
- SRR
 - 共有モード [35-15](#)
 - サポート [1-15](#)
 - シェーピング モード [35-15](#)
 - 設定する
 - 出力キューでの共有重み [35-86](#)
 - 出力キューでのシェーピング重み [35-85](#)
 - 入力キューでの共有重み [35-78](#)
 - 説明 [35-15](#)
- SSH
 - 暗号化ソフトウェア イメージ [9-46](#)
 - 暗号化方式 [9-47](#)
 - スイッチ スタックの考慮事項 [5-18](#)
 - 設定する [9-48](#)
 - 説明 [1-8, 9-47](#)
 - ユーザ認証方式、サポートされる [9-47](#)
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ [9-51](#)
 - セキュア HTTP クライアントを設定する [9-56](#)
 - セキュア HTTP サーバを設定する [9-55](#)
 - 設定時の注意事項 [9-54](#)
 - 説明 [9-51](#)
 - モニタリング [9-57](#)
- SSM
 - CGMP の制限 [46-17](#)
 - IGMPv3 [46-15](#)
 - IGMPv3 ホスト シグナリング [46-16](#)
 - IGMP スヌーピング [46-17](#)
 - Internet Standard Multicast との違い [46-15](#)
 - IP アドレス範囲 [46-16](#)
 - PIM [46-15](#)
 - アドレス管理に関する制約 [46-17](#)
 - コンポーネント [46-15](#)
 - ステート維持の制限 [46-17](#)
 - 設定 [46-15, 46-18](#)
 - 設定時の注意事項 [46-16](#)
 - 動作 [46-16](#)
 - モニタリング [46-18](#)
- SSM マッピング [46-18](#)
- DNS ベース [46-20, 46-22](#)
- 概要 [46-19](#)
- スタティック [46-20, 46-21](#)
- スタティック トラフィック 転送 [46-24](#)
- 制限 [46-19](#)
- 設定 [46-18, 46-21](#)
- 設定時の注意事項 [46-19](#)
- モニタリング [46-24](#)
- standby ip コマンド [42-6](#)
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブルにする [20-17](#)
 - 説明 [20-7](#)
 - ディセーブルにする [20-17](#)
 - BPDU ガード
 - イネーブルにする [20-14](#)
 - 説明 [20-2](#)
 - ディセーブルにする [20-15](#)
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブルにする [20-15](#)
 - 説明 [20-3](#)
 - ディセーブルにする [20-16](#)
 - BPDU メッセージ交換 [18-3](#)
 - EtherChannel ガード
 - イネーブルにする [20-18](#)
 - 説明 [20-10](#)
 - ディセーブルにする [20-18](#)
 - IEEE 802.1D とブリッジ ID [18-5](#)
 - IEEE 802.1D とマルチキャスト アドレス [18-9](#)

- IEEE 802.1Q トランクでの制限 [18-12](#)
- IEEE 802.1t と VLAN 識別情報 [18-5](#)
- Port Fast
 - イネーブルにする [20-13](#)
 - 説明 [20-2](#)
- Port Fast 対応ポートのシャットダウン [20-2](#)
- UplinkFast
 - イネーブルにする [20-16](#)
 - 説明 [20-3](#)
- VLAN ブリッジ [18-12](#)
- インターフェイスの状態
 - 概要 [18-5](#)
 - ディセーブル [18-8](#)
 - 転送する [18-6, 18-8](#)
 - ブロッキング [18-7](#)
 - ラーニング [18-7](#)
 - リスニング [18-7](#)
- インターフェイスの状態、転送のブロッキング [20-2](#)
- 下位 BPDU [18-3](#)
- 概要 [18-2](#)
- カウンタ、クリア [18-26](#)
- 拡張システム ID
 - 概要 [18-5](#)
 - セカンダリ ルート スイッチの影響 [18-18](#)
 - 予期しない動作 [18-17](#)
 - ルート スイッチの影響 [18-17](#)
- 間接リンク障害を検出する [20-8](#)
- クロススタック UplinkFast
 - イネーブルにする [20-17](#)
 - 説明 [20-5](#)
- サポートされるインスタンス [18-11](#)
- サポートされるオプション機能 [1-9](#)
- サポートされる機能 [1-9](#)
- サポートされるプロトコル [18-10](#)
- サポートされるモード [18-10](#)
- 指定スイッチ、定義済み [18-4](#)
- 指定ポート、定義済み [18-4](#)
- 冗長接続性 [18-9](#)
- スイッチ スタックでのルート ポートの選択 [18-4](#)
- スタックの変更、影響 [18-12](#)
- ステータス、表示する [18-25](#)
- ステータスを表示する [18-25](#)
- 設定
 - hello タイム [18-23](#)
 - 最大エージング タイム [18-24](#)
 - セカンダリ ルート スイッチ [18-18](#)
 - 転送遅延時間 [18-24](#)
 - ポート プライオリティ [18-19](#)
- 設定時の注意事項 [18-14, 20-12](#)
- 設定する
 - スイッチ プライオリティ [18-22](#)
 - スパニング ツリー モード [18-15](#)
 - 転送保留カウンタ [18-25](#)
 - パス コスト [18-21](#)
 - ルート スイッチ [18-17](#)
- タイマー、説明 [18-23](#)
- ディセーブルにする [18-16](#)
- デフォルト設定 [18-13](#)
- デフォルトのオプション機能設定 [20-12](#)
- パス コスト [13-27](#)
- ポート プライオリティ [13-26](#)
- マルチキャスト アドレス、影響 [18-9](#)
- モード間での相互運用性と互換性 [18-11](#)
- 優位 BPDU [18-3](#)
- ルート ガード
 - イネーブルにする [20-18](#)
 - 説明 [20-10](#)
- ルート スイッチ
 - 拡張システム ID の影響 [18-5, 18-17](#)
 - 設定する [18-17](#)
 - 選択 [18-3](#)
 - 予期しない動作 [18-17](#)
- ルート スイッチ選択を防止する [20-10](#)
- ルート ポート選択のアクセラレーション [20-4](#)
- ルート ポート、定義済み [18-4](#)
- ループ ガード
 - イネーブルにする [20-19](#)

説明 20-11

レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-8

ロード シェアリング

概要 13-25

パス コストを使用する 13-27

ポート プライオリティを使用する 13-25

subnet mask 38-7

SunNet Manager 1-6

SVI

IP ユニキャスト ルーティング 38-5

VLAN 間でのルーティング 13-2

VLAN の接続 12-10

定義 12-5

ルータ ACL 34-5

SVI autostate exclude

設定する 12-29

SVI 自動ステート除外

定義 12-6

SVI リンク ステート 12-6

Switch Database Management

「SDM」を参照

switchport backup interface 21-4, 21-5

switchport block multicast コマンド 25-8

switchport block unicast コマンド 25-8

switchport mode dot1q-tunnel コマンド 17-7

switchport protected コマンド 25-7

switchport コマンド 12-17

Syslog

「システム メッセージ ロギング」を参照

T

TACACS+

アカウントティング、定義済み 9-12

概要 9-11

クラスタでの 6-17

サーバを指定する 9-13

サポート 1-13

設定する

アカウントティング 9-17

認可 9-16

認証キー 9-13

ログイン認証 9-14

設定を表示する 9-18

操作 9-12

デフォルト設定 9-13

認可、定義済み 9-12

認証、定義済み 9-12

ユーザに対するサービスを制限する 9-16

ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする 9-17

tar ファイル

イメージ ファイルの形式 51-26

作成する 51-6

抽出する 51-8

内容を表示する 51-7

TCAM

スペース

HFTM 49-25

HQATM 49-25

未割り当て 49-25

メモリの整合性 1-6, 49-25

メモリの整合性検査エラー

例 49-26

メモリの整合性検査ルーチン 1-6, 49-25

TCL スクリプト、組み込みイベント マネージャによる登録と定義 33-7

TDR 1-18

Telnet

管理インターフェイスにアクセスする 2-10

接続数 1-7

パスワードを設定する 9-6

Terminal Access Controller Access Control System Plus

「TACACS+」を参照

TFTP

イメージ ファイル

アップロードする 51-30

サーバを準備する 51-28

削除する [51-30](#)
 ダウンロードする [51-28](#)
 サーバによるアクセスを制限する [32-18](#)
 自動設定を設定する [3-7](#)
 設定ファイル
 アップロードする [51-13](#)
 サーバを準備する [51-11](#)
 ダウンロードする [51-12](#)
 ベース ディレクトリの設定ファイル [3-8](#)
 TFTP サーバ [1-6](#)
 time-range コマンド [34-19](#)
 TLV
 LLDP [27-2](#)
 LLDP-MED [27-2](#)
 定義済み [27-2](#)
 ToS [1-14](#)
 traceroute コマンド [49-18](#)
 「IP traceroute」も参照
 traceroute、レイヤ 2
 1 ポートに複数のデバイス [49-17](#)
 ARP [49-17](#)
 CDP [49-16](#)
 IP アドレスおよびサブネット [49-17](#)
 MAC アドレスおよび VLAN [49-17](#)
 使用上の注意事項 [49-16](#)
 説明 [49-16](#)
 ブロードキャスト トラフィック [49-16](#)
 マルチキャスト トラフィック [49-17](#)
 ユニキャスト トラフィック [49-16](#)

U

UDLD
 イネーブル化
 グローバル [28-5](#)
 イネーブルにする
 インターフェイスごとの [28-6](#)
 インターフェイスをリセットする [28-6](#)
 概要 [28-1](#)

検出メカニズムをエコーする [28-3](#)
 サポート [1-9](#)
 ステータス、表示する [28-7](#)
 設定時の注意事項 [28-4](#)
 ディセーブルにする
 インターフェイスごとの [28-6](#)
 グローバルに [28-5](#)
 光ファイバインターフェイスでの [28-5](#)
 デフォルト設定 [28-4](#)
 ネイバー データベース [28-2](#)
 リンク検出メカニズム [28-1](#)
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-10](#)

UDLD シャットダウン インターフェイスをリセットする [28-6](#)
 UDP ジッタ、設定する [43-10](#)
 UDP ジッタ動作、IP SLA [43-9](#)
 UDP、設定 [38-17](#)
 unicast storm control コマンド [25-4](#)
 UNIX Syslog サーバ
 サポートされる機能 [31-14](#)
 デーモンの設定 [31-13](#)
 メッセージ ロギング設定 [31-13](#)
 UplinkFast
 イネーブルにする [20-16](#)
 サポート [1-9](#)
 説明 [20-3](#)
 ディセーブルにする [20-17](#)

V

VACL
 ロギング
 設定例 [34-41](#)
 VACL ロギングの設定 [34-40](#)
 VACL ロギング パラメータ [34-41](#)
 Version-Mismatch (VM) モード
 auto-advise での手動でのアップグレード [5-13](#)
 auto-extract でのアップグレード [5-13](#)
 auto-upgrade での自動アップグレード [5-13](#)

VLAN

1006 ～ 4094 の ID を設定する [13-12](#)
 RSPAN での送信元トラフィックを制限する [29-24](#)
 SPAN での送信元トラフィックを制限する [29-17](#)
 STP と IEEE 802.1Q トランク [18-12](#)
 SVI による接続 [12-10](#)
 VLAN データベースに追加する [13-9](#)
 VLAN ブリッジ STP [18-12, 48-2](#)
 VTP モード [14-3](#)
 拡張範囲 [13-1, 13-12](#)
 機能 [1-10](#)
 サービス プロバイダー ネットワーク内のカスタマー番号 [17-3](#)
 削除する [13-10](#)
 作成する [13-9](#)
 サポートされる [13-3](#)
 サポートされる番号 [1-10](#)
 スイッチ スタックでの [13-7](#)
 図示 [13-2](#)
 スタティック アクセス ポート [13-10](#)
 スパニング ツリー インスタンスと [13-3, 13-7, 13-13](#)
 設定 [13-1](#)
 設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN [13-12](#)
 設定時の注意事項、標準範囲 VLAN [13-6](#)
 説明 [12-2, 13-1](#)
 ダイナミック アドレスのエージング [18-10](#)
 追加 [13-9](#)
 デフォルト設定 [13-8](#)
 トークンリング [13-6](#)
 トラフィック [13-2](#)
 トランク上での許可 [13-22](#)
 内部 [13-13](#)
 ネイティブ、設定する [13-24](#)
 パラメータ [13-5](#)
 表示する [13-16](#)
 標準範囲 [13-1, 13-5](#)
 変更する [13-9](#)
 ポート メンバシップ モード [13-3](#)

マルチキャスト [24-19](#)

VLAN 1、トランク ポート上でディセーブルにする [13-22](#)

VLAN 1 の最小化 [13-22](#)

VLAN ACL

「VLAN マップ」を参照

vlan.dat ファイル [13-5](#)

vlan dot1q tag native コマンド [17-5](#)

VLAN ID、検出する [7-24](#)

VLAN Query Protocol

「VQP」を参照

VLAN 管理ドメイン [14-2](#)

VLAN 間ルーティング [1-16, 38-2](#)

vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド [13-7](#)

VLAN コンフィギュレーション モード [2-2](#)

VLAN 設定

起動時 [13-8](#)

保存 [13-8](#)

VLAN データベース

VLAN の保存 [13-5](#)

VTP と [14-1](#)

スタートアップ コンフィギュレーション ファイルと [13-8](#)

保存されている VLAN 設定 [13-7](#)

VLAN トランッキング プロトコル

「VTP」を参照

VLAN トランク [13-16](#)

VLAN フィルタリングと SPAN [29-7](#)

VLAN マップ

ACL と VLAN マップの例 [34-35](#)

一般的な使用方法 [34-38](#)

サーバに対するアクセス拒否の例 [34-39](#)

削除する [34-37](#)

作成 [34-35](#)

サポート [1-11](#)

設定時の注意事項 [34-34](#)

設定する [34-33](#)

定義済み [34-3](#)

適用 [34-37](#)

- パケットの拒否と許可 [34-35](#)
- 表示 [34-46](#)
- ワイヤリング クローゼットの設定例 [34-38](#)
- VLAN マップ エントリ、順序 [34-34](#)
- VLAN マネジメント ポリシー サーバ
 - 「VMPS」を参照
- VLAN メンバシップ
 - 確認する [13-32](#)
 - モード [13-3](#)
- VLAN リンク ステート [12-6](#)
- VLAN ロード バランシング、Flex Link の
 - 設定時の注意事項 [21-8](#)
- VLAN 割り当て応答、VMPS [13-29](#)
- VMPS
 - MAC アドレスの VLAN へのマッピング [13-29](#)
 - 管理する [13-33](#)
 - サーバアドレスを入力する [13-31](#)
 - 再確認間隔、変更する [13-32](#)
 - 設定時の注意事項 [13-30](#)
 - 設定例 [13-34](#)
 - 説明 [13-28](#)
 - ダイナミック ポート メンバシップ
 - 再確認する [13-32](#)
 - 説明 [13-29](#)
 - トラブルシューティング [13-34](#)
 - デフォルト設定 [13-30](#)
 - メンバシップを再確認する [13-32](#)
 - モニタリング [13-33](#)
 - リトライ回数、変更する [13-33](#)
- Voice over IP [15-1](#)
- VPN
 - サービス プロバイダー ネットワーク内 [38-80](#)
 - フォワーディング [38-83](#)
 - ルーティングの設定 [38-90](#)
 - ルート [38-81](#)
- VPN ルーティングおよび転送テーブル
 - 「VRF」を参照
- VQP [1-10, 13-28](#)
- VRF
 - 定義 [38-82](#)
 - テーブル [38-80](#)
- VRF 認識サービス
 - ARP [38-87](#)
 - ftp [38-89](#)
 - HSRP [38-88](#)
 - ping [38-87](#)
 - RADIUS [38-88](#)
 - SNMP [38-87](#)
 - syslog [38-88](#)
 - tftp [38-89](#)
 - traceroute [38-89](#)
 - 設定 [38-86](#)
- VTP
 - アドバタイズメント [13-20, 14-4](#)
 - 拡張範囲 VLAN と [13-3, 14-2](#)
 - クライアント モード、設定する [14-13](#)
 - クライアントをドメインに追加する [14-17](#)
 - サーバ モード、設定する [14-12, 14-15](#)
 - サポート [1-10](#)
 - 使用する [14-1](#)
 - 整合性検査 [14-5](#)
 - 設定
 - 注意事項 [14-9](#)
 - 保存する [14-9](#)
 - 要件 [14-11](#)
 - 設定の要件 [14-11](#)
 - 設定リビジョン番号
 - 注意事項 [14-17](#)
 - リセットする [14-18](#)
 - 説明 [14-1](#)
 - デフォルト設定 [14-9](#)
 - 統計情報 [14-19](#)
 - トークンリングのサポート [14-5](#)
 - ドメイン [14-2](#)
 - ドメイン名 [14-10](#)
 - トランスペアレント モード、設定 [14-12](#)
 - バージョン
 - イネーブルにする [14-15](#)

バージョン 1 [14-5](#)
 バージョン 2
 概要 [14-5](#)
 設定時の注意事項 [14-10](#)
 バージョン 3
 概要 [14-5](#)
 バージョン、注意事項 [14-10](#)
 パスワード [14-10](#)
 標準範囲 VLAN と [13-3, 14-2](#)
 プルーニング
 イネーブルにする [14-16](#)
 概要 [14-6](#)
 サポート [1-10](#)
 ディセーブルにする [14-16](#)
 例 [14-7](#)
 プルーニング適格リスト、変更する [13-23](#)
 モード
 オフ [14-4](#)
 クライアント [14-3](#)
 サーバ [14-3](#)
 トランスペアレント [14-4](#)
 変遷 [14-3](#)
 モニタリング [14-19](#)
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-8](#)

認証 [45-3](#)
 ネゴシエーション [45-3](#)
 パケットのリダイレクト [45-3](#)
 パケット戻し方式 [45-3](#)
 パスワードの設定 [45-7](#)
 表示 [45-10](#)
 メッセージ交換 [45-2](#)
 モニタリングおよびメンテナンス [45-10](#)
 レイヤ 2 ヘッダー書き換え [45-3](#)
 Web Cache Communication Protocol
 「WCCP」を参照
 Web 認証 [10-18](#)
 設定する [11-16 ~ ??](#)
 説明 [1-10](#)
 Web ベース認証
 カスタマイズ可能な Web ページ [11-6](#)
 説明 [11-1](#)
 Web ベース認証、他の機能との相互作用 [11-7](#)
 Weighted Tail Drop
 「WTD」を参照
 WTD
 サポート [1-15](#)
 しきい値を設定する
 出力キュー セット [35-81](#)
 入力キュー [35-76](#)
 説明 [35-14](#)

W

WCCP

MD5 セキュリティ [45-3](#)
 イネーブル化 [45-6](#)
 クライアントから受信したトラフィックのリダイレクト [45-6](#)
 サポートしない WCCPv2 機能 [45-5](#)
 サポートしない機能 [45-5](#)
 設定時の注意事項 [45-6](#)
 説明 [45-1](#)
 ダイナミック サービス グループ [45-3](#)
 デフォルト設定 [45-5](#)
 転送方式 [45-3](#)

X

Xmodem プロトコル [49-2](#)

あ

アカウンティング
 802.1x での [10-51](#)
 IEEE 802.1x での [10-16](#)
 RADIUS での [9-35](#)
 TACACS+ での [9-12, 9-17](#)
 アクセス拒否応答、VMPS [13-29](#)

アクセス グループ

IPv4 ACL をインターフェイスに対して適用する **34-23**

レイヤ 2 **34-23**

レイヤ 3 **34-23**

アクセス コントロール エントリ

「ACE」を参照

アクセス コントロール エントリ (ACE) **40-3**

アクセスする

クラスタ、スイッチ **6-14**

コマンド スイッチ **6-12**

スイッチ クラスタ **6-14**

メンバ スイッチ **6-14**

アクセスする、スタック メンバに **5-25**

アクセス、テンプレートの **8-1**

アクセス不能認証バイパス **10-25**

multiauth ポートのサポート **10-25**

アクセス ポート

スイッチ クラスタでの **6-10**

定義済み **12-3**

レイヤ 2 プロトコル トンネリング **17-11**

アクセス リスト

「ACL」を参照

アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA **43-1**

アクティブ リンク **21-2, 21-4, 21-5, 21-6**

アクティブ ルータ **42-2**

アップグレードする、ソフトウェア イメージを

「ダウンロードする」を参照

アップロードする

イメージ ファイル

FTP を使用する **51-35**

RCP を使用する **51-40**

TFTP を使用する **51-30**

準備する **51-28, 51-31, 51-36**

理由 **51-25**

設定ファイル

FTP を使用する **51-16**

RCP を使用する **51-19**

TFTP を使用する **51-13**

準備する **51-11, 51-14, 51-17**

理由 **51-9**

宛先 IP アドレス ベース転送、EtherChannel **36-9**

宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel **36-9**

宛先アドレス

IPv4 ACL での **34-14**

IPv6 ACL **40-6**

アドバタイズメント

CDP **26-1**

LLDP **27-2**

RIP **38-22**

VTP **13-20, 14-3, 14-4**

アドミニストレーティブ ディスタンス

OSPF **38-36**

定義 **38-109**

ルーティング プロトコルのデフォルト **38-98**

アドレス

IPv6 **39-2**

MAC アドレス テーブルを表示する **7-24**

MAC、検出する **7-24**

スタティック

追加と削除 **7-20**

定義済み **7-12**

ダイナミック

エージング タイムを変更する **7-14**

エージングのアクセラレーション **18-10**

削除する **7-15**

定義済み **7-12**

デフォルト エージング **18-10**

ラーニング **7-13**

マルチキャスト

STP アドレス管理 **18-9**

グループ アドレス範囲 **46-3**

アドレス解決 **7-24, 38-10**

アドレス解決プロトコル

「ARP」を参照

アドレスのエイリアス **24-2**

アプリケーション エンジン、トラフィックのリダイレクト **45-1**

アベイラビリティ、機能 [1-8](#)

アラーム、RMON [30-3](#)

暗号化、CipherSuite [9-53](#)

暗号化ソフトウェア イメージ

Kerberos [9-40](#)

SSH [9-46](#)

SSL [9-51](#)

スイッチ スタックの考慮事項 [5-18](#)

暗号化、パスワードの [9-3](#)

い

イーサネット VLAN

追加する [13-9](#)

デフォルトと範囲 [13-8](#)

変更する [13-9](#)

イーサネット経由の電源供給

「PoE」を参照

一時的な自己署名証明書 [9-52](#)

一致する、IPv4 ACL [34-8](#)

一般クエリー [21-5](#)

イネーブル シークレット パスワード [9-3](#)

イネーブル パスワード [9-3](#)

イベント、RMON [30-3](#)

イベント検出器、組み込みイベント マネージャ [33-3](#)

インターフェイス

Auto-MDIX、設定する [12-23](#)

カウンタ、クリアする [12-35](#)

管理 [1-6](#)

再起動 [12-35](#)

サポートされる [12-11](#)

シャットダウンする [12-35](#)

情報を表示する [12-34](#)

ステータス [12-33](#)

設定時の注意事項

10 ギガビット イーサネット [12-19](#)

デュプレックスと速度 [12-19](#)

設定する

手順 [12-13](#)

説明 [12-27](#)

タイプ [12-1](#)

デフォルト設定 [12-17](#)

デュプレックスと速度、設定する [12-20](#)

範囲 [12-13](#)

範囲マクロ [12-15](#)

番号 [12-12](#)

物理、指定する [12-11, 12-12](#)

フロー制御 [12-22](#)

命名する [12-27](#)

モニタリング [12-33](#)

わかりやすい名前、追加 [12-27](#)

インターネット プロトコル バージョン 6

「IPv6」を参照

インターフェイス コマンド [12-12 ~ 12-13](#)

インターフェイス コンフィギュレーション モード [2-3](#)

インターネット制御メッセージ プロトコル

「ICMP」を参照

インターフェイス タイプ [12-12](#)

う

ウィザード [1-2](#)

え

永続的な自己署名証明書 [9-52](#)

エージング タイム

MAC アドレス テーブル [7-14](#)

アクセラレーション

MSTP の [19-24](#)

STP での [18-10, 18-24](#)

最大

MSTP [19-25](#)

STP での [18-24, 18-25](#)

エージング、短縮 [18-10](#)

エラー メッセージ、コマンド入力中の [2-5](#)

エリア ボーダ ルータ

「ABR」を参照

エリア ルーティング

IS-IS [38-70](#)ISO IGRP [38-70](#)

お

応答側、IP SLA

イネーブルにする [43-8](#)説明 [43-4](#)応答時間、IP SLA で測定する [43-4](#)

オブジェクト トラッキング

HSRP [44-7](#)IP SLA [44-9](#)IP SLA、設定 [44-9](#)モニタリング [44-14](#)オブジェクト トラッキングのプライマリ インターフェイス、DHCP、設定 [44-11](#)オブジェクトのトラッキング [44-1](#)オプション、管理 [1-6](#)オフ モード、VTP [14-4](#)オフライン設定、スイッチ スタックの [5-8](#)

音声 VLAN

Cisco 7960 Phone、ポート接続 [15-1](#)IP 電話音声トラフィック、説明 [15-2](#)IP 電話データ トラフィック、説明 [15-2](#)IP 電話への接続 [15-4](#)

音声トラフィックに対してポートを設定する

802.1p プライオリティ タグ付きフレーム [15-6](#)

音声トラフィック用のポート設定

802.1Q フレーム [15-5](#)設定時の注意事項 [15-3](#)説明 [15-1](#)

データ トラフィックに対して IP 電話を設定する

着信フレームの CoS のオーバーライド [15-7](#)着信フレームの CoS プライオリティの信頼 [15-7](#)デフォルト設定 [15-3](#)表示する [15-8](#)

音声認識 802.1x セキュリティ

ポートベース認証

設定する [10-40](#)説明 [10-32, 10-40](#)

オンライン診断

概要 [50-1](#)テストの実行 [50-3](#)

か階層、NTP [7-2](#)

階層型ポリシー マップ

設定時の注意事項 [35-40](#)設定する [35-61](#)説明 [35-12](#)階層ポリシー マップ [35-9](#)ガイド モード [1-2](#)回復手順 [49-1](#)外部ネイバー、BGP [38-52](#)カウンタ、インターフェイスをクリアする [12-35](#)拡散更新アルゴリズム (DUAL) [38-39](#)拡張 crashinfo ファイル [49-24](#)

拡張 IGRP

「EIGRP」を参照

拡張オブジェクト トラッキング

DHCP プライマリ インターフェイス [44-11](#)HSRP [44-7](#)IP SLA [44-9](#)IP SLA でのネットワーク モニタリング [44-11](#)IP ルーティング ステート [44-2](#)コマンド [44-1](#)スタティック ルート プライマリ インターフェイス [44-11](#)追跡リスト [44-3](#)定義 [44-1](#)バックアップ スタティック ルーティング [44-13](#)ラインプロトコル ステート [44-2](#)ルーティング ポリシー、設定 [44-13](#)拡張オブジェクト トラッキングのスタティック ルーティング [44-10](#)

拡張システム ID

MSTP 19-18

STP 18-5, 18-17

拡張範囲 VLAN

作成する 13-13

設定 13-12

設定時の注意事項 13-12

定義済み 13-1

内部 VLAN ID を指定した作成 13-14

拡張ユニバーサル識別情報

「EUI」を参照

隔離 VLAN 16-2, 16-3

カスタマイズ可能な Web ページ、Web ベース認証 11-6

仮想 IP アドレス

クラスタ スタンバイ グループ 6-12

コマンド スイッチ 6-12

仮想スイッチと PAgP 36-6

仮想ルータ 42-2

簡易ネットワーク管理プロトコル

「SNMP」を参照

環境変数、機能 3-24

環境変数、組み込みイベント マネージャ 33-5

管理 VLAN

異なる管理 VLAN での検出 6-8

スイッチ クラスタでの考慮事項 6-8

管理アクセス

帯域外コンソール ポート接続 1-8

帯域内

CLI セッション 1-7

SNMP 1-8

デバイス マネージャ 1-7

ブラウザ セッション 1-7

管理アドレス TLV 27-2

管理オプション

CLI 2-1

CNS 4-1

Network Assistant 1-2

概要 1-6

クラスタリング 1-3

管理の簡易性に関する機能 1-6

き

キー発行局

「KDC」を参照

ギガビット モジュール

「SFP」を参照 1-25

起動

手動 3-21

機能、非互換 25-13

逆アドレス解決 38-10

逆アドレス解決プロトコル

「RARP」を参照

許可 VLAN リスト 13-22

許可ポート、IEEE 802.1x での 10-11

緊急キュー、QoS の 35-87

<

クエリー、IGMP 24-4

クエリー送信要求、IGMP 24-13

組み込みイベント マネージャ

3.2 33-5

TCL スクリプトの登録と定義 33-7

アクション 33-4

アプレットの登録と定義 33-6

イベント検出器 33-3

概要 33-1

環境変数 33-5

情報の表示 33-8

設定 33-1, 33-6

ポリシー 33-4

クライアント プロセス、トラッキング 44-1

クライアント モード、VTP 14-3

クラスタ グループおよび HSRP グループのバインド 42-12

クラスタ、スイッチ

- LRE プロファイルの考慮事項 [6-17](#)
 - アクセスする [6-14](#)
 - 管理する
 - CLI を使用して [6-17](#)
 - SNMP を介して [6-18](#)
 - 互換性 [6-5](#)
 - 自動回復 [6-11](#)
 - 自動検出 [6-5](#)
 - 説明 [6-1](#)
 - プランニング [6-5](#)
 - プランニングの考慮事項
 - CLI [6-17](#)
 - IP アドレス [6-14](#)
 - LRE プロファイル [6-17](#)
 - RADIUS [6-17](#)
 - SNMP [6-15, 6-18](#)
 - TACACS+ [6-17](#)
 - 自動回復 [6-11](#)
 - 自動検出 [6-5](#)
 - スイッチ スタック [6-15](#)
 - パスワード [6-15](#)
 - ホスト名 [6-14](#)
 - 利点 [1-2](#)
 - 「候補スイッチ」、「コマンドスイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「メンバスイッチ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照
 - クラスタ スタンバイ グループ
 - HSRP グループ [42-12](#)
 - 「HSRP」も参照
 - 仮想 IP アドレス [6-12](#)
 - 考慮事項 [6-12](#)
 - 自動回復 [6-13](#)
 - 定義済み [6-2](#)
 - 要件 [6-3](#)
 - クラス マップ、QoS の
 - 設定する [35-53](#)
 - 説明 [35-8](#)
 - 表示する [35-88](#)
 - クラスレス ドメイン間ルーティング
 - 「CIDR」を参照
 - クラスレス ルーティング [38-8](#)
 - クリアする、インターフェイスを [12-35](#)
 - クリティカル VLAN [10-25](#)
 - クリティカル音声 VLAN
 - 設定 [10-55](#)
 - クリティカル認証、IEEE 802.1x [10-55](#)
 - グローバル コンフィギュレーション モード [2-2](#)
 - グローバルな脱退、IGMP [24-13](#)
 - クロススタック EtherChannel
 - サポート [1-9](#)
 - 図 [36-4](#)
 - 設定時の注意事項 [36-13](#)
 - 設定する
 - レイヤ 2 インターフェイスでの [36-13](#)
 - レイヤ 3 物理インターフェイスでの [36-17](#)
 - 説明 [36-3](#)
 - クロススタック UplinkFast、STP
 - Fast Uplink Transition Protocol [20-6](#)
 - イネーブルにする [20-17](#)
 - 高速コンバージェンス イベント [20-7](#)
 - サポート [1-9](#)
 - 説明 [20-5](#)
 - 通常コンバージェンス イベント [20-7](#)
 - ディセーブルにする [20-17](#)
 - クロック
 - 「システム クロック」を参照
-
- ## け
- 経路集約、OSPF [38-35](#)
 - ケーブル、単方向リンクのモニタリング [28-1](#)
 - ゲスト VLAN と 802.1x [10-23](#)
 - 権限レベル
 - 回線に対するデフォルトを変更する [9-9](#)
 - 概要 [9-2, 9-8](#)
 - 既存の [9-10](#)
 - コマンド スイッチ [6-18](#)
 - コマンドを設定する [9-8](#)

メンバスイッチでのマッピング **6-18**

ロギング **9-10**

検出、クラスタ

「自動検出」を参照

検出する、間接リンク障害を、STP **20-8**

こ

構成設定、保存する **3-17**

高速コンバージェンス **19-10**

高速スパニング ツリー プロトコル

「RSTP」を参照

候補スイッチ

自動検出 **6-5**

定義済み **6-4**

要件 **6-4**

「コマンドスイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「メンバスイッチ」も参照

小型フォーム ファクタ モジュール、着脱可能

「SFP」を参照

互換性、機能 **25-13**

互換性、ソフトウェア

「スタック、スイッチ」を参照

コマンド

no 形式と default 形式 **2-4**

短縮形 **2-4**

コマンド、権限レベルを設定する **9-8**

コマンドスイッチ

アクセスする **6-12**

アクティブ (AC) **6-11**

置き換える

クラスタ メンバでの **49-9**

別のスイッチとの **49-11**

回復

失われたメンバ接続性からの **49-12**

コマンドスイッチの障害からの **6-11, 49-8**

冗長 **6-11**

スタンバイ (SC) **6-11**

設定の矛盾 **49-12**

定義済み **6-2**

パスワード権限レベル **6-18**

パッシブ (PC) **6-11**

プライオリティ **6-11**

要件 **6-3**

「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「メンバスイッチ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

コマンドモード **2-1**

コマンドライン インターフェイス

「CLI」を参照

コミュニティ VLAN **16-2, 16-3**

コミュニティ ストリング

SNMP **6-15**

概要 **32-4**

クラスタ スイッチの **32-4**

クラスタでの **6-15**

設定する **6-15, 32-8**

コミュニティ ポート **16-2**

コミュニティ リスト、BGP **38-63**

壊れたソフトウェア、Xmodem での回復手順 **49-2**

混合ポート

設定 **16-14**

定義 **16-2**

コンソール ポート、接続する **2-10**

コンテンツ ルーティング テクノロジー

「WCCP」を参照

コンフィギュレーション ファイル

パスワード回復のディセーブル時の考慮事項 **9-5**

コンポーネント管理 TLV **27-3, 27-7**

コンフィギュレーション ログイン **2-5**

さ

サーバ モード、VTP **14-3**

サービス拒絶攻撃 **25-1**

サービス クラス

「CoS」を参照

サービス プロバイダー ネットワーク

EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング **17-9**

IEEE 802.1Q トンネリング **17-1**

カスタマー VLAN **17-2**

レイヤ 2 プロトコル **17-8**

サービスプロバイダー ネットワーク

MSTP および RSTP **19-1**

再確認間隔、VMPS、変更する **13-32**

再確認する、ダイナミック VLAN メンバシップを **13-32**

最大エージング タイム

MSTP **19-25**

STP **18-24**

最大数、ポートあたりのデバイスの、ポートベース認証 **10-39**

最大ホップ カウント、MSTP **19-25**

最適化する、システム リソースを **8-1**

削除する、VLAN を **13-10**

サブドメイン、プライベート VLAN **16-1**

サブネット ゼロ **38-8**

サポートされるポートベース認証方式 **10-8**

し

シーケンス番号、ログ メッセージの **31-8**

シェイプド ラウンド ロビン

「SRR」を参照

時間帯 **7-5**

時間範囲、ACL での **34-19**

しきい値、トラフィック レベル **25-2**

しきい値のモニタリング、IP SLA **43-6**

時刻

「NTP とシステム クロック」を参照

シスコ エクスプレス フォワーディング

「CEF」を参照

システム MTU

IS-IS LSP **38-75**

システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング **17-5**

システム記述 TLV **27-2**

システム機能 TLV **27-2**

システム クロック

概要 **7-1**

設定する

時間帯 **7-5**

手動で **7-4**

夏時間 **7-6**

日時を表示する **7-5**

「NTP」も参照

システム プロンプト、デフォルト設定 **7-7, 7-8**

システム名

手動での設定 **7-8**

デフォルト設定 **7-8**

「DNS」も参照

システム名 TLV **27-2**

システム メッセージ ロギング

Syslog 機能 **1-17**

UNIX Syslog サーバ

サポートされる機能 **31-14**

デーモンを設定する **31-13**

ロギング機能を設定する **31-13**

イネーブルにする **31-5**

エラー メッセージの重大度を定義する **31-9**

概要 **31-1**

機能キーワード、説明 **31-14**

シーケンス番号、イネーブルとディセーブル **31-8**

スタックの変更、影響 **31-2**

設定を表示する **31-17**

タイム スタンプ、イネーブルとディセーブル **31-8**

ディセーブルにする **31-4**

デフォルト設定 **31-4**

表示宛先デバイスを設定する **31-5**

メッセージの形式 **31-2**

メッセージを制限する **31-10**

レベル キーワード、説明 **31-10**

ログ メッセージの同期をとる **31-6**

システム リソース、最適化する **8-1**

システム ルーティング

IS-IS **38-70**

ISO IGRP **38-70**

実行コンフィギュレーション

置き換える [51-20, 51-21](#)ロールバックする [51-20, 51-22](#)実行コンフィギュレーション、保存する [3-17](#)

自動 QoS

「QoS」を参照

自動 QoS ビデオ デバイス [1-15](#)自動 RP、説明 [46-7](#)自動アップグレード (auto-upgrade)、スイッチ スタックでの [5-13](#)自動アドバイス (auto-advise)、スイッチ スタックでの [5-13](#)自動イネーブル化 [10-33](#)自動回復、クラスタ [6-11](#)

自動検出

考慮事項

CDP 非対応デバイス [6-6](#)管理 VLAN [6-8](#)クラスタ非対応デバイス [6-6](#)異なる VLAN [6-7](#)最新のスイッチ [6-10](#)接続性 [6-5](#)非候補デバイスの先 [6-8](#)ルーテッドポート [6-9](#)スイッチ クラスタでの [6-5](#)

「CDP」も参照

自動検知、ポート速度 [1-4](#)自動コピー (auto-copy)、スイッチ スタックでの [5-13](#)自動ステート除外 [12-6](#)自動設定 [3-3](#)自動抽出 (auto-extract)、スイッチ スタックでの [5-13](#)

自動ネゴシエーション

インターフェイス設定時の注意事項 [12-20](#)デュプレックス モード [1-4](#)不一致 [49-12](#)

自動復旧、クラスタ

「HSRP」も参照

重大度、システム メッセージで定義する [31-9](#)

柔軟な認証の順序設定

概要 [10-31](#)設定する [10-65](#)集約アドレス、BGP [38-65](#)集約グローバルユニキャスト アドレス [39-3](#)集約テンプレート [5-11, 8-1](#)

集約ポート

「EtherChannel」を参照

集約ポリシング [1-14](#)集約ポリシング機能 [35-68](#)

受動インターフェイス

OSPF [38-36](#)設定 [38-108](#)

準備状態チェック

ポートベース認証

設定する [10-39](#)説明 [10-18, 10-39](#)

照合

IPv6 ACL [40-3](#)

冗長性

EtherChannel [36-3](#)HSRP [42-1](#)

STP

パス コスト [13-27](#)バックボーン [18-9](#)ポート プライオリティ [13-25](#)マルチドロップ バックボーン [20-5](#)

冗長電源システム

「Cisco Redundant Power System 2300」を参照

冗長リンクと UplinkFast [20-16](#)

初期設定

Express Setup [1-2](#)デフォルト [1-19](#)

侵入検知システム

「IDS 装置」を参照

信頼される境界、QoS の [35-45](#)

信頼状態、ポートの

IP 電話のポート セキュリティを確立する [35-45](#)QoS ドメイン間 [35-47](#)QoS ドメイン内 [35-43](#)

分類オプション 35-5

信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP 38-40

す

スイッチ間リンク

「ISL」を参照

スイッチ仮想インターフェイス

「SVI」を参照

スイッチ コンソール ポート 1-8

スイッチ ソフトウェア機能 1-1

スイッチド パケット、ACL 34-43

スイッチド ポート 12-2

スイッチド ポート アナライザ

「SPAN」を参照

スイッチのクラスタ化テクノロジー 6-1

「クラスタ、スイッチ」も参照

スイッチ プライオリティ

MSTP 19-23

STP 18-22

スーパーネット 38-8

スケジューリング、IP SLA 動作 43-5

スケジュール、リロードの 3-24

スタートアップ コンフィギュレーション

クリアする 51-20

設定ファイル

自動的にダウンロードする 3-20

ファイル名を指定する 3-20

ブーティング

手動で 3-21

特定のイメージ 3-22

スタック、スイッチ

auto-advise 5-13

auto-copy 5-13

auto-extract 5-13

CDP の考慮事項 26-2

HSRP の考慮事項 42-5

IPv6 39-11

MAC アドレス 5-7, 5-21

MAC アドレスの考慮事項 7-14

STP

サポートされるインスタンス 18-11

スタック ルート スイッチの選択 18-3

ブリッジ ID 18-3

ルート ポートの選択 18-4

Version-Mismatch (VM) モード

auto-advise での手動でのアップグレード 5-13

auto-extract でのアップグレード 5-13

auto-upgrade での自動アップグレード 5-13

例 5-14

アップグレードする 51-41

あるメンバから別のメンバへイメージ ファイルをコピーする 51-41

永続的 MAC アドレス タイマーをイネーブルにする 5-21

オフライン設定

新メンバのプロビジョニング 5-24

説明 5-8

プロビジョニングされるスイッチ、定義済み 5-8

プロビジョニングされるスイッチの置き換えの影響 5-11

プロビジョニングされるスイッチの削除の影響 5-11

プロビジョニングされるスイッチの追加の影響 5-9

プロビジョニングされる設定、定義済み 5-8

管理する 5-1

管理接続 5-17

クラスタでの 6-15

互換性、ソフトウェア 5-12

互換性のないソフトウェアとイメージのアップグレード 5-16, 51-41

サポートされる MSTP インスタンス 18-11

システム全体の設定での考慮事項 5-17

システム プロンプトの考慮事項 7-7

システム メッセージ

表示のホスト名 31-1

リモートでのモニタリング 31-2

自動アップグレード 5-13

- 障害が発生したメンバを置き換える [5-16](#)
- 情報を表示する [5-26](#)
- 情報を割り当てる
 - 新メンバのプロビジョニング [5-24](#)
 - プライオリティ値 [5-24](#)
 - メンバ番号 [5-23](#)
- スタック プロトコル バージョン [5-12](#)
- 設定シナリオ [5-18](#)
- 設定ファイル [5-16](#)
- 説明 [5-1](#)
- ソフトウェア イメージ バージョン [5-12](#)
- ソフトウェアの互換性 [5-12](#)
- デフォルト設定 [5-21](#)
- 特定のスタック メンバの CLI にアクセスする [5-25](#)
- バージョンミスマッチ モード
 - 説明 [5-12](#)
- パーティション化される [5-4, 49-8](#)
- ハードウェアの互換性と SDM ミスマッチ モード [5-11](#)
- ブリッジ ID [5-7](#)
- プロビジョニングされるスイッチ
 - 置き換える [5-11](#)
 - 削除する [5-11](#)
 - 追加する [5-9](#)
- マージされる [5-4](#)
- マルチキャスト ルーティング、スタック マスターおよびメンバーの役割 [46-10](#)
- メンバシップ [5-3](#)
- 「スタック マスターとスタック メンバ」も参照
- スタックの変更
 - 影響
 - IPv6 ルーティング [39-11](#)
- スタックの変更、影響
 - 802.1x ポートベース認証 [10-12](#)
 - ACL 設定 [34-7](#)
 - CDP [26-2](#)
 - EtherChannel [36-10](#)
 - HSRP [42-5](#)
 - IGMP スヌーピング [24-7](#)
 - IPv6 ACL [40-4](#)
 - IP ルーティング [38-4](#)
 - MAC アドレス テーブル [7-14](#)
 - MSTP [19-8](#)
 - MVR [24-19](#)
 - SDM テンプレートの選択 [8-4](#)
 - SNMP [32-1](#)
 - SPAN と RSPAN [29-10](#)
 - STP [18-12](#)
 - VLAN [13-7](#)
 - VTP [14-8](#)
 - クロススタック EtherChannel [36-13](#)
 - システム メッセージ ログ [31-2](#)
 - スイッチ クラスタ [6-15](#)
 - フォールバック ブリッジング [48-3](#)
 - ポート セキュリティ [25-20](#)
 - マルチキャスト ルーティング [46-10](#)
- スタック プロトコル バージョン [5-12](#)
- スタック マスター
 - IPv6 [39-11](#)
 - 「スタック、スイッチ」も参照
 - 選択 [5-5](#)
 - 定義済み [5-1](#)
 - ブリッジ ID (MAC アドレス) [5-7](#)
- スタック メンバ
 - IPv6 [39-11](#)
 - 置き換える [5-16](#)
 - 情報を表示する [5-26](#)
 - 新メンバのプロビジョニング [5-24](#)
 - 数 [5-7](#)
 - 「スタック、スイッチ」も参照
 - 設定する
 - プライオリティ値 [5-24](#)
 - メンバ番号 [5-23](#)
 - 定義済み [5-1](#)
 - 特定のスタック メンバの CLI にアクセスする [5-25](#)
 - プライオリティ値 [5-8](#)
- スタック メンバ番号 [12-12](#)
- スタティック IP ルーティング [1-16](#)

スタティック MAC アドレッシング **1-11**
 スタティック SSM マッピング **46-20, 46-21**
 スタティック VLAN メンバシップ **13-2**
 スタティック アクセス ポート
 VLAN に割り当てる **13-10**
 定義済み **12-3, 13-3**
 スタティック アドレス
 「アドレス」を参照
 スタティック トラフィック転送 **46-24**
 スタティック ルーティング **38-3**
 スタティック ルーティング サポート、拡張オブジェクト
 トラッキング **44-10**
 スタティック ルーティングのプライマリ インターフェイ
 ス、設定 **44-11**
 スタティック ルート
 IPv6 で設定する **39-22**
 概要 **39-7**
 設定 **38-98**
 スタティック ルートのプライマリ インターフェイス、設
 定 **44-11**
 スタブ エリア、OSPF **38-34**
 スタブ ルーティング、EIGRP **38-46**
 スタンバイ グループ、クラスタ
 「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
 スタンバイ コマンドスイッチ
 仮想 IP アドレス **6-12**
 考慮事項 **6-12**
 設定する
 定義済み **6-2**
 プライオリティ **6-11**
 要件 **6-3**
 「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
 スタンバイ タイマー、HSRP **42-11**
 スタンバイ リンク **21-2**
 スタンバイ ルータ **42-2**
 ステイッキー ラーニング **25-10**
 ストーム制御
 サポート **1-5**
 しきい値 **25-2**
 設定する **25-3**

 説明 **25-1**
 ディセーブルにする **25-5**
 表示する **25-23**
 スヌーピング、IGMP **24-2**
 スパニング ツリーとネイティブ VLAN **13-19**
 スパニング ツリー プロトコル
 「STP」を参照
 スプリット ホライズン、RIP **38-25**
 スマート ロギング **31-1, 31-14**
 スモールフレーム着信レート、設定する **25-5**

せ

正規の時刻源、説明 **7-2**
 制御プロトコル、IP SLA **43-4**
 制限する、アクセスを
 RADIUS **9-18**
 TACACS+ **9-10**
 概要 **9-1**
 パスワードと権限レベル **9-2**
 制限付き VLAN
 IEEE 802.1x で使用する **10-24**
 設定する **10-53**
 説明 **10-24**
 整合性検査、VTP バージョン 2 での **14-5**
 正常終了応答、VMPS **13-29**
 生成する、IGMP レポートを **21-3**
 セカンダリ VLAN **16-2**
 セキュア HTTP クライアント
 設定する **9-56**
 表示する **9-57**
 セキュア HTTP サーバ
 設定する **9-55**
 表示する **9-57**
 セキュア MAC アドレス
 最大数 **25-10**
 削除する **25-17**
 スイッチ スタックと **25-20**
 タイプ **25-10**

セキュア シェル

「SSH」を参照

セキュア ポート

スイッチ スタックと **25-20**設定する **25-9**セキュア リモート接続 **9-47**セキュリティ機能 **1-10**セキュリティ、ポート **25-9**設計する、ネットワークを、例 **1-22**接続性の問題 **49-14, 49-16, 49-17**接続、セキュア リモート **9-47**設定可能な脱退タイマー、IGMP **24-6**設定時の注意事項、Multi-VRF CE **38-83**

設定、初期

Express Setup **1-2**デフォルト **1-19**設定する、802.1x ユーザ ディストリビューション
を **10-58**設定する、スモールフレーム着信レートを **25-5**設定する、ポートベース認証の違反モードを **10-42**設定の置換 **51-20**設定の変更、ロギング **31-11**設定の矛盾、失われたメンバ接続性から回復する **49-12**設定のロールバック **51-20, 51-21**

設定ファイル

DHCP で取得する **3-9**TFTP サーバアクセスを制限する **32-18**アーカイブする **51-21**

アップロードする

FTP を使用する **51-16**RCP を使用する **51-19**TFTP を使用する **51-13**準備する **51-11, 51-14, 51-17**理由 **51-9**コピー時の無効な組み合わせ **51-5**作成時と使用上の注意事項 **51-10**システム接点と場所の情報 **32-17**実行コンフィギュレーションを置き換える **51-20, 51-21**実行コンフィギュレーションをロールバックする **51-20, 51-22**スタートアップ コンフィギュレーションを消去する **51-20**説明 **51-9**タイプと場所 **51-10**

ダウンロードする

FTP を使用する **51-14**RCP を使用する **51-18**TFTP を使用する **51-12**自動的に **3-20**準備する **51-11, 51-14, 51-17**理由 **51-9**置換とロールバックの注意事項 **51-22**テキスト エディタを使用して作成する **51-11**デフォルト名 **3-20**ファイル名を指定する **3-20**保存された設定を削除する **51-20**設定例、ネットワーク **1-22**設定ロガー **31-11**

セットアップ プログラム

障害が発生したコマンド スイッチの置換 **49-11**障害が発生したコマンド スイッチを置き換える **49-9**

選択

「スタック マスター」を参照

そ

送信元 IP アドレス ベース転送、EtherChannel **36-9**送信元 IP アドレス ベース転送と宛先 IP アドレス ベース
転送、EtherChannel **36-9**送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel **36-9**送信元 MAC アドレス転送と宛先 MAC アドレス転送、
EtherChannel **36-9**

送信元アドレス

IPv4 ACL での **34-14**IPv6 ACL **40-6**即時脱退、IGMP **24-5**イネーブルにする **41-9**

属性、RADIUS

ベンダー固有 9-36

ベンダー専用 9-38

属性と値のペア 10-13, 10-17, 10-22

ソフトウェア イメージ

tar ファイル形式、説明 51-26

回復手順 49-2

フラッシュ内での場所 51-26

リロードのスケジューリング 3-25

「ダウンロードとアップロード」も参照

ソフトウェアの互換性

「スタック、スイッチ」を参照

た

ダイナミック ARP インспекション

ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリのプライオリティ 23-5

ARP キャッシュ ポイズニング 23-1

ARP スプーフィング攻撃 23-1

ARP パケットのレート制限

errdisable ステート 23-5

設定 23-12

説明 23-4

ARP 要求、説明 23-1

DHCP スヌーピング バインディング データベース 23-2

DoS 攻撃、回避 23-12

man-in-the middle 攻撃、説明 23-2

インターフェイス信頼状態 23-3

機能 23-2

クリア

統計情報 23-17

ログ バッファ 23-17

設定

着信 ARP パケットのレート制限 23-4, 23-12

ログ バッファ 23-14

設定時の注意事項 23-6

設定する

DHCP 環境での 23-8

非 DHCP 環境の ACL 23-10

説明 23-1

妥当性チェック、実行 23-13

デフォルト設定 23-6

統計情報

クリア 23-17

表示 23-17

ドロップされたパケットのロギング、説明 23-5

ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス信頼状態 23-3

表示

ARP ACL 23-16

信頼状態およびレート制限 23-16

設定および動作状態 23-16

統計情報 23-17

ログ バッファ 23-17

レート制限を超過した場合の errdisable ステート 23-5

ログ バッファ

クリア 23-17

設定 23-14

表示 23-17

ダイナミック アクセス ポート

設定する 13-31

定義済み 12-3

特性 13-4

ダイナミック アドレス

「アドレス」を参照

ダイナミック ポート VLAN メンバシップ

再確認する 13-32

接続のタイプ 13-31

説明 13-29

トラブルシューティング 13-34

ダイナミック ルーティング 38-3

ISO CLNS 38-70

タイプ オブ サービス

「ToS」を参照

タイム スタンプ、ログ メッセージの 31-8

タイム ドメイン反射率計

「TDR」を参照

ダウンロード可能 ACL [10-20, 10-22, 10-62](#)

ダウンロードする

イメージ ファイル

CMS を使用する [1-2](#)

FTP を使用する [51-32](#)

HTTP を使用する [1-2, 51-25](#)

RCP を使用する [51-37](#)

TFTP を使用する [51-28](#)

準備する [51-28, 51-31, 51-36](#)

デバイス マネージャまたは Network Assistant を使用する [51-25](#)

古いイメージを削除する [51-30](#)

理由 [51-25](#)

設定ファイル

FTP を使用する [51-14](#)

RCP を使用する [51-18](#)

TFTP を使用する [51-12](#)

準備する [51-11, 51-14, 51-17](#)

理由 [51-9](#)

タグ付きパケット

IEEE 802.1Q [17-3](#)

レイヤ 2 プロトコル [17-8](#)

単一方向リンク検出プロトコル

「UDLD」を参照

短時間でのコンバージェンス [21-3](#)

短縮形、コマンドの [2-4](#)

端末回線、パスワードを設定する [9-6](#)

設定 [44-3](#)

タイプ [44-3](#)

追跡リスト内の重みしきい値 [44-5](#)

追跡リスト内のパーセントしきい値 [44-6](#)

追跡リスト内のブール式 [44-4](#)

て

ディスタンスベクトル プロトコル [38-3](#)

ディスタンス ベクトル マルチキャスト ルーティング プロトコル

「DVMRP」を参照

ディスタンスベクトル マルチキャスト ルーティング プロトコル

「DVMRP」を参照

ディファレンシエーテッド サービス アーキテクチャ、QoS [35-2](#)

ディファレンシエーテッド サービス コード ポイント [35-2](#)

低密度波長分割多重方式

「CWDM SFP」を参照

ディレクトリ

作業ディレクトリを表示する [51-4](#)

作成と削除 [51-4](#)

変更する [51-4](#)

デスクトップ テンプレート [5-11, 8-1](#)

デバイス検出プロトコル [26-1, 27-1](#)

デバイス マネージャ

スイッチをアップグレードする [51-25](#)

説明 [1-2, 1-6](#)

帯域内管理 [1-7](#)

利点 [1-2](#)

デバッグする

エラー メッセージ出力をリダイレクトする [49-21](#)

コマンドを使用する [49-20](#)

すべてのシステム診断をイネーブルにする [49-21](#)

特定機能に対してイネーブルにする [49-21](#)

デフォルト ゲートウェイ [3-17, 38-13](#)

デフォルト設定

802.1x [10-36](#)

つ

ツイストペア イーサネット、単方向リンクを検出する [28-1](#)

追跡対象オブジェクト

しきい値重みによる [44-5](#)

しきい値パーセントによる [44-6](#)

ブール式の使用 [44-4](#)

追跡リスト

- BGP 38-50
- CDP 26-2
- DHCP 22-8
- DHCP オプション 82 22-9
- DHCP スヌーピング 22-9
- DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-9
- DNS 7-9
- EIGRP 38-40
- EtherChannel 36-11
- Flex Link 21-8
- HSRP 42-5
- IEEE 802.1Q トンネリング 17-4
- IGMP 46-42
- IGMP スヌーピング 24-7, 41-6
- IGMP フィルタリング 24-27
- IP SLA 43-6
- IPv6 39-12
- IP アドレス指定、IP ルーティング 38-6
- IP ソース ガード 22-19
- IP マルチキャスト ルーティング 46-11
- IS-IS 38-71
- LLDP 27-5
- MAC アドレス テーブル 7-14
- MAC アドレス テーブル移動更新 21-8
- MSDP 47-4
- MSTP 19-15
- Multi-VRF CE 38-83
- MVR 24-21
- OSPF 38-29
- PIM 46-11
- RADIUS 9-28
- RIP 38-22
- RMON 30-3
- RSPAN 29-11
- SDM テンプレート 8-5
- SNMP 32-7
- SPAN 29-11
- SSL 9-54
- STP 18-13
- TACACS+ 9-13
- UDLD 28-4
- VLAN 13-8
- VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 13-19
- VMPS 13-30
- VTP 14-9
- WCCP 45-5
- イーサネット インターフェイス 12-17
- オプションのスパニング ツリー設定 20-12
- 音声 VLAN 15-3
- システム名とプロンプト 7-8
- システム メッセージ ロギング 31-4
- 自動 QoS 35-22
- 初期スイッチ情報 3-3
- スイッチ スタック 5-21
- ダイナミック ARP インスペクション 23-6
- パスワードと権限レベル 9-2
- バナー 7-11
- 標準 QoS 35-37
- フォールバック ブリッジング 48-4
- プライベート VLAN 16-8
- レイヤ 2 インターフェイス 12-17
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-11
- デフォルト ネットワーク 38-99
- デフォルトの Web ベース認証の設定
802.1X 11-9
- デフォルト ルーティング 38-3
- デフォルト ルート 38-99
- デュアル IPv4/IPv6 テンプレート 8-2, 39-6
- デュアルアクションの検出 36-6
- デュアル プロトコル スタック
IPv4 と IPv6 39-6
SDM テンプレートのサポート 39-6
- 電源管理 TLV 27-3, 27-7
- 転送情報ベース
「FIB」を参照
転送遅延時間

MSTP [19-24](#)

STP [18-24](#)

転送保留カウンタ

「STP」を参照

テンプレート、SDM [8-2](#)

と

同期化、BGP [38-52](#)

統計情報

802.1X [11-17](#)

802.1x [10-67](#)

CDP [26-5](#)

IP マルチキャスト ルーティング [46-66](#)

LLDP [27-11](#)

LLDP-MED [27-11](#)

NMSP [27-11](#)

OSPF [38-38](#)

QoS の入力と出力 [35-88](#)

RMON グループ イーサネット [30-5](#)

RMON グループ履歴 [30-5](#)

SNMP 入力と出力 [32-19](#)

VTP [14-19](#)

インターフェイス [12-34](#)

到達可能性、IP SLA IP ホストのトラッキング [44-9](#)

トークンリング VLAN

VTP サポート [14-5](#)

サポート [13-6](#)

独立ポート [16-2](#)

都市ロケーション [27-3](#)

特権 EXEC モード [2-2](#)

ドメイン、ISO IGRP ルーティング [38-70](#)

ドメイン ネーム システム

「DNS」を参照

ドメイン名

DNS [7-8](#)

VTP [14-10](#)

トラストポイント、CA [9-52](#)

トラッキング、IP ルーティング ステートの [44-2](#)

トラッキング、インターフェイス ラインプロトコル ステートの [44-2](#)

トラッキング プロセス [44-1](#)

トラック ステート、IP SLA のトラッキング [44-9](#)

トラップ

MAC アドレス通知を設定する [7-15, 7-17, 7-19](#)

イネーブルにする [7-15, 7-17, 7-19, 32-13](#)

概要 [32-1, 32-5](#)

通知タイプ [32-13](#)

定義済み [32-4](#)

マネージャを設定する [32-13](#)

トラップ ドア メカニズム [3-2](#)

トラフィック

非フラグメント化 [34-6](#)

フラグメント化 [34-6](#)

フラッドのブロッキング [25-8](#)

分割 IPv6 [40-3](#)

トラフィックの抑制 [25-2](#)

トラフィック ポリシング [1-14](#)

トラブルシューティング

CiscoWorks での [32-4](#)

CPU 使用率 [49-26](#)

debug コマンド [49-20](#)

PIMv1 および PIMv2 の相互運用性の問題 [46-37](#)

ping による [49-15](#)

SFP セキュリティと識別情報 [49-13](#)

show forward コマンド [49-22](#)

traceroute での [49-18](#)

クラッシュ情報を表示する [49-24](#)

システム メッセージ ロギングでの [31-1](#)

接続性の問題 [49-14, 49-16, 49-17](#)

単方向リンクを検出する [28-1](#)

パケット転送を設定する [49-22](#)

トランキングのカプセル化 [1-10](#)

トランク

ISL [13-16](#)

許可 VLAN リスト [13-22](#)

設定 [13-21, 13-26, 13-27](#)

タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN [13-24](#)

パラレル [13-27](#)

非 DTP デバイスに対する [13-17](#)

プルーニング適格リスト [13-23](#)

ロードシェアリング

STP パス コストを設定する [13-27](#)

STP ポート プライオリティを使用する [13-25, 13-26](#)

トランク フェールオーバー

「リンクステート トラッキング」を参照

トランク ポート

カプセル化 [13-21, 13-26, 13-27](#)

設定する [13-21](#)

定義済み [12-3, 13-3](#)

トランスペアレント モード、VTP [14-4](#)

トンネリング

IEEE 802.1Q [17-1](#)

定義 [17-1](#)

レイヤ 2 プロトコル [17-8](#)

トンネル ポート

IEEE 802.1Q、設定 [17-6](#)

説明 [12-4, 17-1](#)

定義済み [13-4](#)

他の機能との非互換性 [17-6](#)

TACACS+ での [9-12, 9-16](#)

認証

AAA でのローカル モード [9-45](#)

EIGRP [38-45](#)

HSRP [42-11](#)

OpenIxx [10-31](#)

RADIUS

キー [9-28](#)

ログイン [9-30](#)

TACACS+

キー [9-13](#)

定義済み [9-12](#)

ログイン [9-14](#)

「ポートベース認証」を参照

認証キー、ルーティング プロトコル [38-110](#)

認証失敗 VLAN

「制限付き VLAN」を参照

認証の互換性、Catalyst 6000 スイッチとの [10-9](#)

認証マネージャ

CLI コマンド [10-10](#)

以前の 802.1x CLI コマンドとの互換性 [10-10 ~ ??](#)

概要 [10-8](#)

な

内部ネイバー、BGP [38-52](#)

夏時間 [7-6](#)

等コスト ルーティング [1-16, 38-97](#)

名前付き IPv4 ACL [34-17](#)

並べ替え、ACL エントリ [34-17](#)

に

二重タグ パケット

IEEE 802.1Q トンネリング [17-2](#)

レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-10](#)

認可

RADIUS での [9-34](#)

ね

ネイティブ VLAN

IEEE 802.1Q トンネリング [17-4](#)

設定する [13-24](#)

デフォルト [13-24](#)

ネイバー、BGP [38-64](#)

ネイバー探索、IPv6 [39-4](#)

ネイバー探索および回復、EIGRP [38-39](#)

ネットワーク管理

CDP [26-1](#)

RMON [30-1](#)

SNMP [32-1](#)

ネットワーク タイム プロトコル

「NTP」を参照

ネットワークの設計

サービス [1-23](#)パフォーマンス [1-23](#)

ネットワークの設定例

Multiple-Dwelling ネットワーク [1-31](#)サーバ集約と Linux サーバ クラスタ [1-26](#)冗長ギガビット バックボーン [1-26](#)大規模ネットワーク [1-30](#)高パフォーマンス ワイヤリング クローゼット [1-25](#)中小規模ネットワーク [1-28](#)長距離、広帯域トランスポート [1-33](#)ネットワーク パフォーマンスを改善する [1-23](#)ネットワーク サービスを提供する [1-23](#)費用対効果が高いワイヤリング クローゼット [1-25](#)ネットワーク パフォーマンス、IP SLA で測定する [43-3](#)ネットワーク ポリシー TLV [27-2, 27-7](#)

ネットワーク エッジ アクセス トポロジ

「NEAT」を参照

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

パケットの変更、QoS での [35-20](#)パス MTU 検出 [39-4](#)

パス コスト

MSTP [19-21](#)STP [18-21](#)

パスワード

VTP ドメイン [14-10](#)暗号化 [9-3](#)回復 [49-3](#)回復をディセーブルにする [9-5](#)概要 [9-1](#)クラスタでの [6-15](#)セキュリティ [1-10](#)

設定する

Telnet [9-6](#)イネーブル [9-3](#)シークレットをイネーブルにする [9-3](#)ユーザ名での [9-7](#)デフォルト設定 [9-2](#)

バックアップ インターフェイス

「Flex Link」を参照

バックアップ スタティック ルーティング、設定 [44-13](#)バックアップ リンク [21-2](#)

バナー

設定する

Message-of-the-Day ログイン [7-11](#)ログイン [7-12](#)デフォルト設定 [7-11](#)表示時 [7-10](#)パフォーマンス機能 [1-4](#)パフォーマンス、ネットワークの設計 [1-23](#)パラレル パス、ルーティング テーブル内 [38-97](#)

範囲

インターフェイスの [12-14](#)マクロ [12-15](#)

は

バージョン依存のトランスペアレント モード [14-5](#)

バージョンミスマッチ モード

説明 [5-12](#)

バーチャル プライベート ネットワーク

「VPN」を参照

ハードウェアの制限とレイヤ 3 インターフェイス [12-28](#)

バインディング

DHCP スヌーピング データベース [22-7](#)IP ソース ガード [22-17](#)アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ [22-6](#)

バインディング データベース

DHCP スヌーピング

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

アドレス、DHCP サーバ

「DHCP、Cisco IOS サーバ データベース」を参照

バインディング テーブル、DHCP スヌーピング

ひ

- 非 IPv6 トラフィック、フィルタリング [40-4](#)
- 非 IP トラフィック フィルタリング [34-30](#)
- ピア、BGP [38-64](#)
- 非階層型ポリシー マップ
 - 設定時の注意事項 [35-40](#)
 - 説明 [35-10](#)
- 光ファイバ、単一方向リンクの検出 [28-1](#)
- 非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング [17-4](#)
- 非トランキング モード [13-18](#)
- 非認識 Type-Length-Value (TLV) サポート [14-5](#)
- 標準範囲 VLAN [13-5](#)
 - 設定時の注意事項 [13-6](#)
 - 設定する [13-5](#)
 - 定義済み [13-1](#)

ふ

- ファイル
 - crashinfo、説明 [49-24](#)
 - tar
 - イメージ ファイルの形式 [51-26](#)
 - 作成する [51-6](#)
 - 抽出する [51-8](#)
 - 内容を表示する [51-7](#)
 - 拡張 crashinfo
 - 説明 [49-25](#)
 - 場所 [49-25](#)
 - 基本 crashinfo
 - 説明 [49-24](#)
 - 場所 [49-24](#)
 - コピーする [51-5](#)
 - 削除 [51-5](#)
 - 内容を表示する [51-8](#)
- ファイル システム
 - 使用可能なファイル システムを表示する [51-2](#)
 - デフォルトを設定する [51-3](#)
 - ネットワーク ファイル システム名 [51-5](#)

- ファイル情報を表示する [51-3](#)
- ローカル ファイル システム名 [51-1](#)
- 不一致、自動ネゴシエーション [49-12](#)
- フィルタ、IP
 - 「ACL、IP」を参照
- フィルタリング
 - IPv6 トラフィック [40-4, 40-8](#)
 - show コマンドと more コマンドの出力 [2-9](#)
 - VLAN での [34-33](#)
 - 非 IP トラフィック [34-30](#)
- フィルタリング、show コマンドと more コマンドの出力の [2-9](#)
- ブーティング
 - 特定のイメージ [3-22](#)
 - ブート プロセス [3-2](#)
 - ブートローダ、機能 [3-2](#)
- ブートストラップ ルータ (BSR)、説明 [46-7](#)
- ブートローダ
 - アクセス [3-23](#)
 - 環境変数 [3-23](#)
 - 説明 [3-2](#)
 - トラップ ドア メカニズム [3-2](#)
 - プロンプト [3-23](#)
- フェールオーバー サポート [1-9](#)
- フォールバック ブリッジング
- STP
 - hello BPDU インターバル [48-8](#)
 - VLAN ブリッジ STP [48-2](#)
 - VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリティ [48-6](#)
 - インターフェイスでディセーブル [48-10](#)
 - インターフェイス プライオリティ [48-7](#)
 - 最大アイドル時間 [48-9](#)
 - 転送遅延時間 [48-9](#)
 - パス コスト [48-7](#)
- SVI およびルーテッド ポート [48-1](#)
- VLAN ブリッジ STP [18-12](#)
- インターフェイスを接続する [12-11](#)
- 概要 [48-1](#)

- サポート [1-16](#)
- サポートされていないプロトコル [48-4](#)
- スタックの変更、影響 [48-3](#)
- 設定時の注意事項 [48-4](#)
- 説明 [48-1](#)
- デフォルト設定 [48-2](#)
- ブリッジグループ
 - 機能 [48-2](#)
 - 削除 [48-5](#)
 - 作成 [48-4](#)
 - サポートされる数 [48-5](#)
 - 説明 [48-2](#)
 - 表示 [48-11](#)
- ブリッジテーブル
 - クリア [48-11](#)
 - 表示 [48-11](#)
- フレーム転送
 - パケット転送 [48-2](#)
 - パケットのフラッディング [48-2](#)
- プロトコル、未サポート [48-4](#)
- 保護ポート [48-4](#)
- 複数認証 [10-14](#)
- 複数認証モード
 - 設定する [10-45](#)
- 物理ポート [12-2](#)
- プライオリティ
 - CoS の上書き [15-7](#)
 - CoS を信頼する [15-7](#)
 - HSRP [42-8](#)
- プライベート VLAN
 - IP アドレス指定 [16-3](#)
 - SDM テンプレート [16-4](#)
 - SVI [16-5](#)
 - エンドステーションアクセス [16-3](#)
 - 隔離 VLAN [16-2, 16-3](#)
 - コミュニティ VLAN [16-2, 16-3](#)
 - コミュニティポート [16-2](#)
 - 混合ポート [16-2](#)
 - サブドメイン [16-1](#)
- スイッチスタック [16-7](#)
- セカンダリ VLAN [16-2](#)
- 設定 [16-11](#)
- 設定作業 [16-7](#)
- 設定時の注意事項 [16-8, 16-10](#)
- デフォルト設定 [16-8](#)
- 独立ポート [16-2](#)
- トラフィック [16-5](#)
- 複数のスイッチ間 [16-4](#)
- プライマリ VLAN [16-1, 16-3](#)
- ポート
 - コミュニティ [16-2](#)
 - 混合 [16-2](#)
 - 混合ポートの設定 [16-14](#)
 - 設定時の注意事項 [16-10](#)
 - 説明 [13-4](#)
 - 独立 [16-2](#)
 - ホストポートの設定 [16-13](#)
- マッピング [16-16](#)
- モニタリング [16-17](#)
- 利点 [16-1](#)
- プライベート VLAN エッジポート
 - 「保護ポート」を参照
- プライマリ VLAN [16-1, 16-3](#)
- プライマリリンク [21-2](#)
- フラッシュデバイス、番号 [51-1](#)
- フラッドトラフィック、ブロッキング [25-8](#)
- ブリッジグループ
 - 「フォールバックブリッジング」を参照
- ブリッジドパケット、ACL [34-43](#)
- ブリッジプロトコルデータユニット
 - 「BPDU」を参照
- プルーニング、VTP
 - イネーブルにする
 - VTP ドメインで [14-16](#)
 - ポート上での [13-23](#)
- 概要 [14-6](#)
- ディセーブルにする
 - VTP ドメインで [14-16](#)

ポート上での [13-24](#)

例 [14-7](#)

プルーニング適格リスト

VLAN [14-17](#)

VTP プルーニングの [14-6](#)

変更する [13-23](#)

プレフィックス リスト、BGP [38-61](#)

フロー制御

設定する [12-22](#)

説明 [12-22](#)

フローチャート

QoS 出力キューイングとスケジューリング [35-18](#)

QoS 入力キューイングとスケジューリング [35-16](#)

QoS 分類 [35-7](#)

QoS ポリシングとマーキング [35-11](#)

ブロードキャスト ストーム [25-1, 38-15](#)

ブロードキャストのフラッディング [38-18](#)

ブロードキャスト パケット

ダイレクト [38-15](#)

フラッディング [38-15](#)

フローベース パケット分類 [1-14](#)

プロキシ ARP

IP ルーティングがディセーブル [38-13](#)

設定 [38-12](#)

定義 [38-10](#)

プロキシ レポート [21-4](#)

ブロッキング パケット [25-8](#)

プロトコル依存モジュール、EIGRP [38-40](#)

プロトコル ストーム プロテクション [25-21](#)

プロバイダー エッジ デバイス [38-81](#)

プロビジョニングされるスイッチと IP ソース ガード [22-20](#)

プロビジョニング、スイッチ スタックの新メンバの [5-8](#)

プロファイル外マークダウン [1-14](#)

編集機能

イネーブルとディセーブル [2-7](#)

使用されたキーストローク [2-7](#)

ラップされた行 [2-9](#)

ほ

防止する、不正アクセスを [9-1](#)

ボーダー ゲートウェイ プロトコル

「BGP」を参照

ポート

10 ギガビット イーサネット モジュール [12-7](#)

IEEE 802.1Q トンネル [13-4](#)

VLAN の割り当て [13-10](#)

アクセス [12-3](#)

スイッチ [12-2](#)

スタティック アクセス [13-3, 13-10](#)

セキュア [25-9](#)

ダイナミック アクセス [13-4](#)

トランク [13-3, 13-16](#)

ブロッキング [25-8](#)

保護される [25-6](#)

ルーテッド [12-4](#)

ポート ACL

タイプ [34-4](#)

定義 [34-2](#)

ポート VLAN ID TLV [27-2](#)

ポート記述 TLV [27-2](#)

ポート シャットダウン応答、VMPS [13-29](#)

ポート セキュリティ

QoS 信頼境界と [35-45](#)

イネーブル化 [25-20](#)

違反 [25-10](#)

エージング [25-18](#)

スタック構成と [25-20](#)

スティッキー ラーニング [25-10](#)

設定 [25-13](#)

説明 [25-9](#)

デフォルト設定 [25-12](#)

へ

ヘルプ、コマンドライン [2-3](#)

- トランク ポートでの [25-15](#)
- 表示 [25-23](#)
- プライベート VLAN の [25-20](#)
- 他の機能との [25-12](#)
- ポートチャネル
 - 「EtherChannel」を参照
- ポートの信頼状態
 - サポート [1-14](#)
- ポート プライオリティ
 - MSTP [19-20](#)
 - STP [18-19](#)
- ポート ブロッキング [1-5, 25-8](#)
- ポートベース認証
 - ACL と RADIUS Filter-Id 属性での [10-34](#)
 - EAPOL-Start フレーム [10-6](#)
 - EAP-Request/Identity フレーム [10-6](#)
 - EAP-Response/Identity フレーム [10-6](#)
 - VLAN 割り当て
 - AAA 認証 [10-43](#)
 - 設定タスク [10-19](#)
 - 説明 [10-18](#)
 - 特性 [10-18](#)
 - Wake-on-LAN、説明 [10-28](#)
 - アカウンティング [10-16](#)
 - アクセス不能認証バイパス
 - 設定する [10-55](#)
 - 説明 [10-25](#)
 - 注意事項 [10-38](#)
- イネーブル化
 - 802.1x 認証 [11-11](#)
- 音声 VLAN
 - PVID [10-27](#)
 - VVID [10-27](#)
 - 説明 [10-27](#)
- 音声認識 802.1x セキュリティ
 - 設定する [10-40](#)
 - 説明 [10-32, 10-40](#)
- 開始およびメッセージ交換 [10-6](#)
- カプセル化 [10-3](#)
- クライアント、定義 [10-3, 11-2](#)
- ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 [10-24, 10-25](#)
 - 説明 [10-23](#)
- 柔軟な認証の順序設定
 - 概要 [10-31](#)
 - 設定する [10-65](#)
- 準備状態チェック
 - 設定する [10-39](#)
 - 説明 [10-18, 10-39](#)
- スイッチ
 - RADIUS クライアント [10-3](#)
 - プロキシとして [10-3, 11-2](#)
- スイッチ サプリカント
 - 概要 [10-32](#)
 - 設定する [10-60](#)
- スタックの変更、影響 [10-12](#)
- 設定
 - RADIUS サーバ [10-45, 11-13](#)
 - 違反モード [10-42](#)
 - スイッチからクライアントへの再送信時間 [10-48](#)
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信回数 [10-49, 10-50](#)
 - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ [10-44, 11-11](#)
 - 待機時間 [10-48](#)
- 設定時の注意事項 [10-37, 11-9](#)
- 設定する
 - 802.1x 認証 [10-42](#)
 - アクセス不能認証バイパス [10-55](#)
 - クライアントの手動での再認証 [10-47](#)
 - ゲスト VLAN [10-52](#)
 - 制限付き VLAN [10-53](#)
 - 定期的な再認証 [10-46](#)
 - ホスト モード [10-45](#)
- 説明 [10-1](#)
- ダウンロード可能 ACL とリダイレクト URL
 - 概要 [10-20 ~ 10-22](#)
 - 設定 [10-62 ~ 10-65](#)

デバイスの役割 [10-3, 11-2](#)
 デフォルト値へのリセット [10-67](#)
 デフォルト設定 [10-36, 11-9](#)
 統計情報の表示 [10-67, 11-17](#)
 統計情報、表示する [10-67](#)
 認証サーバ
 RADIUS サーバ [10-3](#)
 定義 [10-3, 11-2](#)
 複数認証 [10-14](#)
 方式リスト [10-42](#)
 ポート
 音声 VLAN [10-27](#)
 許可および無許可 [10-11](#)
 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド [10-11](#)
 ポートあたりのデバイスの最大数 [10-39](#)
 ポート セキュリティ
 説明 [10-28](#)
 ホスト モード [10-12](#)
 前のリリースからアップグレードする [35-34](#)
 マジック パケット [10-28](#)
 ユーザ単位 ACL
 AAA 許可 [10-43](#)
 設定タスク [10-20](#)
 説明 [10-19](#)
 ユーザ単位の ACL
 RADIUS サーバ属性 [10-20](#)
 ユーザ ディストリビューション
 概要 [10-30](#)
 注意事項 [10-30](#)
 ポートベース認証方式、サポートされる [10-8](#)
 ポート メンバシップ モード、VLAN [13-3](#)
 保護ポート [1-11, 25-6](#)
 補助 VLAN
 「音声 VLAN」を参照
 ホスト、ダイナミック ポートでの制限 [13-34](#)
 ホスト ポート
 種類 [16-2](#)
 設定 [16-13](#)

ホスト名、クラスタでの [6-14](#)
 ポリシーベース ルーティング
 「PBR」を参照
 ポリシー マップ、QoS の
 SVI での階層
 設定時の注意事項 [35-40](#)
 設定する [35-61](#)
 説明 [35-12](#)
 階層 [35-9](#)
 説明 [35-8](#)
 特性 [35-55](#)
 表示する [35-89](#)
 物理ポートでの非階層
 設定時の注意事項 [35-40](#)
 説明 [35-10](#)
 ポリシング
 階層
 「階層型ポリシー マップ」を参照
 説明 [35-4](#)
 トークン バケット アルゴリズム [35-10](#)
 ポリシング機能
 数 [35-40](#)
 設定する
 各一致トラフィック クラスでの [35-55](#)
 複数トラフィック クラスでの [35-68](#)
 説明 [35-4](#)
 タイプ [35-10](#)
 表示する [35-88](#)
 ポリシング済み DSCP マップ、QoS での [35-72](#)

ま

マーキング
 集約ポリシング機能でのアクション [35-68](#)
 説明 [35-4, 35-9](#)
 マジック パケット [10-28](#)
 マッピング テーブル、QoS の
 設定する
 CoS/DSCP [35-70](#)

DSCP [35-70](#)

DSCP/CoS [35-73](#)

DSCP/DSCP 変換 [35-74](#)

IP precedence/DSCP [35-71](#)

ポリシング済み DSCP [35-72](#)

説明 [35-13](#)

マルチ VRF CE

表示 [38-95](#)

モニタリング [38-95](#)

マルチオペレーションのスケジューリング、IP SLA [43-5](#)

マルチキャスト TV アプリケーション [24-20](#)

マルチキャスト VLAN [24-19](#)

マルチキャスト VLAN レジストレーション

「MVR」を参照

マルチキャスト グループ

加入 [24-3](#)

スタティックな加入 [24-11, 41-8](#)

即時脱退 [24-6](#)

脱退 [24-5](#)

マルチキャスト ストーム [25-1](#)

マルチキャスト パケット

ACL [34-45](#)

ブロッキング [25-8](#)

マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリング [24-18, 41-12](#)

マルチキャスト ルータ ポート、追加する [24-10, 41-8](#)

マルチドメイン認証

「MDA」を参照

み

ミニ アクセス ポイント

「POP」を参照

ミラーリング トラフィック、分析用の [29-1](#)

む

無許可ポート、IEEE 802.1x での [10-11](#)

矛盾、設定 [49-12](#)

め

メッセージ、ユーザに対するバナーを使用した [7-10](#)

メトリック、BGP 内 [38-57](#)

メトリック変換、ルーティング プロトコル間 [38-103](#)

メトロ タグ [17-2](#)

メモリの整合性 [1-6, 49-25](#)

メモリの整合性検査エラー

例 [49-26](#)

メモリの整合性検査ルーチン [1-6, 49-25](#)

メンバシップ モード、VLAN ポート [13-3](#)

メンバ スイッチ

失われた接続性から回復する [49-12](#)

管理する [6-17](#)

「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

自動検出 [6-5](#)

定義済み [6-2](#)

パスワード [6-14](#)

要件 [6-4](#)

も

モジュール番号 [12-12](#)

モニタリング

BGP [38-69](#)

CDP [26-5](#)

CEF [38-96](#)

EIGRP [38-47](#)

Flex Link [21-14](#)

HSRP [42-13](#)

IEEE 802.1Q トンネリング [17-18](#)

IGMP

スヌーピング [24-17, 41-12](#)

フィルタ [24-31](#)

IP

アドレス テーブル [38-19](#)

マルチキャスト ルーティング **46-65**
 ルート **38-112**
 IP SLA 動作 **43-14**
 IPv4 ACL 設定 **34-46**
 IPv6 **39-29**
 IPv6 ACL 設定 **40-9**
 IS-IS **38-79**
 ISO CLNS **38-79**
 MAC アドレス テーブル移動更新 **21-14**
 MSDP ピア **47-18**
 MVR **24-25**
 OSPF **38-38**
 RP マッピング情報 **46-37**
 SFP ステータス **12-34, 49-14**
 Source-Active メッセージ **47-18**
 SSM マッピング **46-24**
 VLAN **13-16**
 フィルタ **34-46**
 マップ **34-46**
 VMPS **13-33**
 VTP **14-19**
 アクセス グループ **34-46**
 インターフェイス **12-33**
 オブジェクト トラッキング **44-14**
 機能 **1-17**
 スイッチ間でのトラフィック フロー **30-1**
 速度モードとデュプレックス モード **12-21**
 単方向リンク用のケーブル **28-1**
 トラフィックの抑制 **25-22**
 トンネリング **17-18**
 フォールバックブリッジング **48-11**
 プライベート VLAN **16-17**
 プローブでの分析用のネットワーク トラフィック **29-2**
 ポート
 ブロッキング **25-23**
 保護 **25-23**
 マルチ VRF CE **38-95**

マルチキャスト ルータ インターフェイス **24-18, 41-12**
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング **17-18**

ゆ

ユーザ EXEC モード **2-2**
 ユーザ単位 ACL と Filter-Id **10-9**
 ユーザ データグラム プロトコル
 「UDP」を参照
 ユーザ名ベース認証 **9-7**
 優先処理、トラフィックの
 「QoS」を参照
 優先遅延、デフォルト設定 **21-8**
 優先、デフォルト設定 **21-8**
 誘導ユニキャスト要求 **1-7**
 ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング **1-7**
 CPU パケットと **7-21**
 スタティック アドレスを追加する **7-22**
 設定時の注意事項 **7-21**
 説明 **7-21**
 ブロードキャスト MAC アドレスと **7-21**
 マルチキャスト アドレスと **7-21**
 ルータ MAC アドレスと **7-21**
 ユニキャスト ストーム **25-1**
 ユニキャスト トラフィック、ブロッキング **25-8**

よ

予約アドレス、DHCP プールでの **22-29**

ら

ライン コンフィギュレーション モード **2-3**

り

リークする、IGMP レポートを **21-4**
 リセット、BGP 内 **38-55**

リダイレクト URL [10-20](#), [10-22](#), [10-62](#)
[10-20](#), [10-22](#), [10-62](#)

リトライ回数、VMPS、変更する [13-33](#)

リモート SPAN [29-3](#)

「RSPAN」を参照

リモート コピー プロトコル

「RCP」を参照

リモート ネットワーク モニタリング

「RMON」を参照

履歴

コマンドを呼び出す [2-6](#)

説明 [2-5](#)

ディセーブルにする [2-6](#)

バッファ サイズを変更する [2-6](#)

履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと番号 [31-10](#)

リロードする、ソフトウェアを [3-24](#)

リンク冗長性

「Flex Link」を参照

リンクステート トラッキング

設定する [36-29](#)

説明 [36-26](#)

リンクステート プロトコル [38-3](#)

リンク、単方向 [28-1](#)

リンクの失敗、単一方向の検出 [19-8](#)

リンク ローカル ユニキャスト アドレス [39-4](#)

隣接テーブル、CEF [38-96](#)

る

ルータ ACL

タイプ [34-5](#)

定義 [34-2](#)

ルータ ID、OSPF [38-38](#)

ルーティング

情報の再配信 [38-100](#)

スタティック [38-3](#)

ダイナミック [38-3](#)

デフォルト [38-3](#)

ルーティングできないプロトコルの転送 [48-1](#)

ルーティング ドメイン連合、BGP [38-66](#)

ルーティング プロトコルのアドミニストレーティブ ディスタンス [38-98](#)

ルーテッド パケット、ACL [34-44](#)

ルーテッド ポート

IP アドレス [12-28](#), [38-5](#)

スイッチ クラスタでの [6-9](#)

設定 [38-5](#)

定義済み [12-4](#)

ルート ガード

イネーブルにする [20-18](#)

サポート [1-9](#)

説明 [20-10](#)

ルート計算タイマー、OSPF [38-36](#)

ルート スイッチ

MSTP [19-18](#)

STP [18-17](#)

ルート選択、BGP [38-56](#)

ルート ターゲット、VPN [38-82](#)

ルート ダンプニング、BGP [38-68](#)

ルート マップ

BGP [38-59](#)

ポリシーベース ルーティング [38-104](#)

ルート リフレクタ、BGP [38-67](#)

ループ ガード

イネーブルにする [20-19](#)

サポート [1-9](#)

説明 [20-11](#)

れ

例

ネットワーク設定 [1-22](#)

レイヤ 2 traceroute

1 ポートに複数のデバイス [49-17](#)

ARP [49-17](#)

CDP [49-16](#)

IP アドレスおよびサブネット [49-17](#)

MAC アドレスおよび VLAN [49-17](#)

使用上の注意事項 [49-16](#)

説明 [49-16](#)

ブロードキャスト トラフィック [49-16](#)

マルチキャスト トラフィック [49-17](#)

ユニキャスト トラフィック [49-16](#)

レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 [12-17](#)

レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 [35-2](#)

レイヤ 2 プロトコル トンネリング

EtherChannel の設定 [17-15](#)

設定 [17-10](#)

注意事項 [17-12](#)

定義 [17-8](#)

デフォルト設定 [17-11](#)

レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウンしきい値 [17-11](#)

レイヤ 2 プロトコル パケットのドロップしきい値 [17-12](#)

レイヤ 3 インターフェイス

IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを割り当てる [39-16](#)

IPv6 アドレスを割り当てる [39-13](#)

IP アドレスの割り当て [38-7](#)

タイプ [38-5](#)

レイヤ 2 モードからの変更 [38-7, 38-88](#)

レイヤ 3 機能 [1-15](#)

レイヤ 3 パケット、分類方式 [35-2](#)

レポート抑制、IGMP

説明 [24-6](#)

ディセーブルにする [24-17, 41-11](#)

ログ メッセージ

「システム メッセージ ロギング」を参照

ロケーション TLV [27-3, 27-7](#)

わ

ワイヤード ロケーション サービス

概要 [27-3](#)

設定する [27-10](#)

表示する [27-11](#)

ロケーション TLV [27-3](#)

ろ

ローカル SPAN [29-2](#)

ロード バランシング [42-4](#)

ロギング メッセージ、ACL [34-10](#)

ログイン認証

RADIUS での [9-30](#)

TACACS+ での [9-14](#)

ログイン バナー [7-10](#)

